

Financial Results for the Third Quarter of the
Fiscal Year Ending December 31,2023
COPYRIGHT 2023 Cacco Inc.

かっこ株式会社 | 証券コード:4166
2023年11月14日



2023年12月期 第3四半期 決算説明資料

Our Business ・ 当社の主要サービスと各プロダクト

セキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術・ノウハウを活用し、ゲームチェンジャーのさまざまなチャレンジを支援するSaaS型アルゴリズムを開発・提供。

不正検知サービス



不正注文検知サービス

O-PLUX

※1

EC決済、転売などにおける代金未払い等の不正注文をリアルタイムに検知。

不正アクセス検知サービス

O-MOTION

金融機関・会員サイト等における不正アクセス・不正ログインをリアルタイムに検知。

フィッシング対策サービス

鉄壁PACK
for フィッシング

情報詐取の手段であるフィッシングメールやフィッシングドメイン検知、さらに詐取した個人情報で行うなりすましログインをワンストップで対策。

決済コンサルティングサービス

主に決済事業者に向けて、決済システムの提供、BNPL※2事業のコンサルティングを実施。

審査エンジンは「**O-PLUX**」を使用。

後払い決済導入パッケージ

SaaS-type BNPL system

初期投資の掛からない後払い決済導入パッケージ「SaaS型BNPLシステム」を提供。

決済事業者だけでなく、ECショッピングカート・大手EC事業者などにも提供。

データサイエンスサービス

AI・統計・数理最適化の技術を用いたデータ解析及びアルゴリズムの開発・提供。

製造業の最適な生産計画作成や小売業の需要予測、コールセンターの最適なシフト作成などあらゆる分野にサービス提供。

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

※2 BNPL：Buy Now Pay Laterの略。後払い決済のこと。

フィッシングにより詐取した情報を悪用した不正犯罪が急増しており対策が急務となっています。



Our Business ・ かつこのメインビジネス — かつこの不正検知サービス —

かつこは、安心安全なネットインフラ構築のためにネットインフラの入口から出口までサポートしています。

不正アクセス検知サービス
O-MOTION

- ◆ 証券会社・銀行が採用
- ◆ Bot・なりすましを自動検知
- ◆ 端末特定技術で特許取得

フィッシング対策サービス
鉄壁PACK
for フィッシング

- ◆ リーズナブルに網羅的な対策が可能
- ◆ フィッシング対策ガイドラインをカバー
- ◆ O-MOTIONで詐欺被害を水際で対策



不正注文検知サービス
O-PLUS

- ◆ 4年連続国内導入数No.1※の実績
- ◆ 累計導入実績11万サイト以上の不正情報を共有
- ◆ ECカートと多数連携

※ 株式会社東京商工リサーチ
「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

不正対策への社会的要請はますます高まっており、不正検知サービスの市場規模はさらなる拡大が予測されます。

- 不正被害の急増に伴い、割賦販売法改正、クレジットカード・セキュリティガイドラインのアップデート等、不正対策に関する規制が年々強化されています。

クレカ不正被害額（番号盗用）の推移



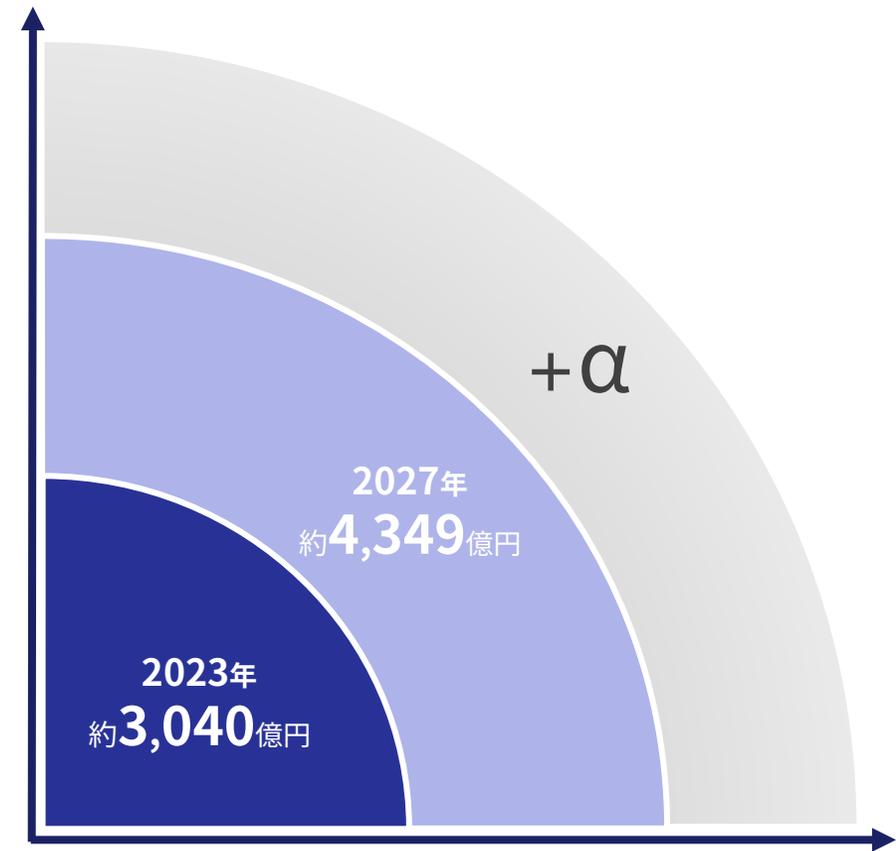
出典：一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」2023年3月

不正アクセス後の不正行為ランキング

- 1位 インターネットバンキングでの不正送金等
- 2位 インターネットショッピングでの不正購入
- 3位 メールの盗み見等の情報の不正入手
- 4位 オンラインゲーム・コミュニティサイトの不正操作
- 5位 知人になりすましての情報発信

出典：警察庁・総務省・経済産業省 令和4年「不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況(令和3年度)」

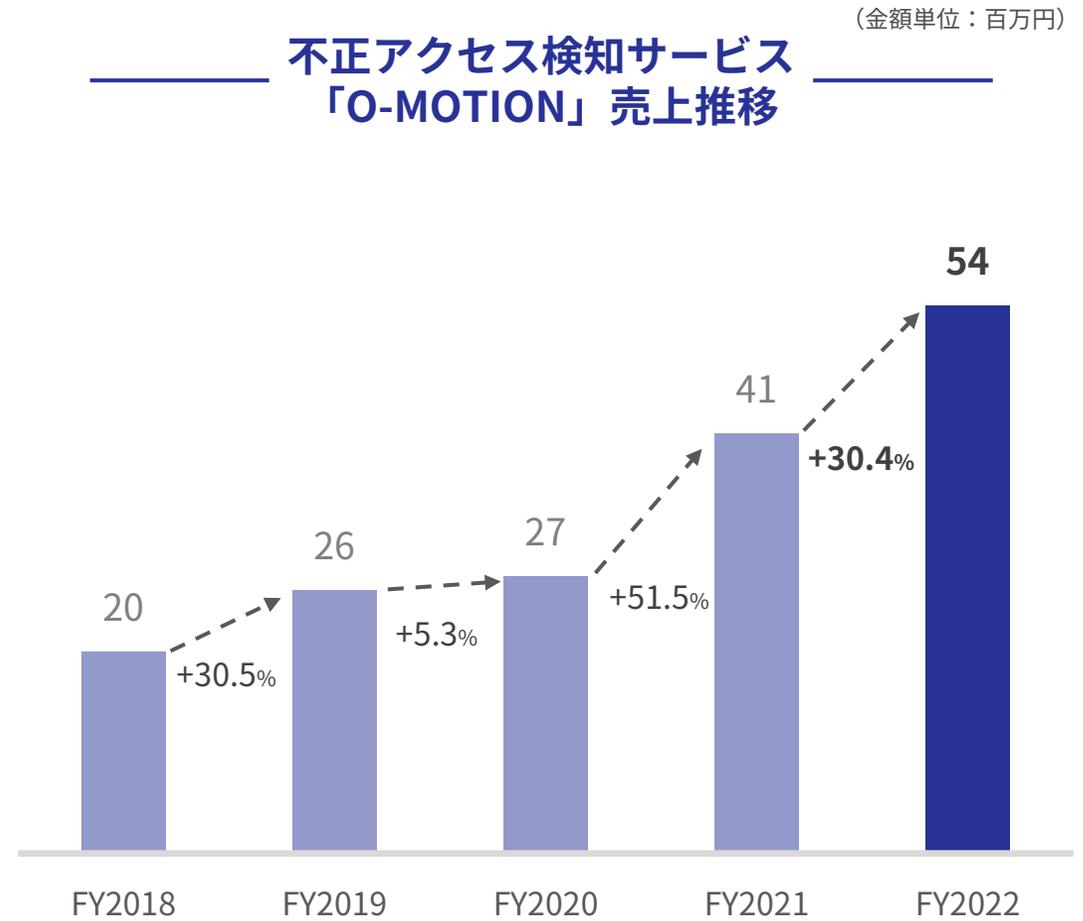
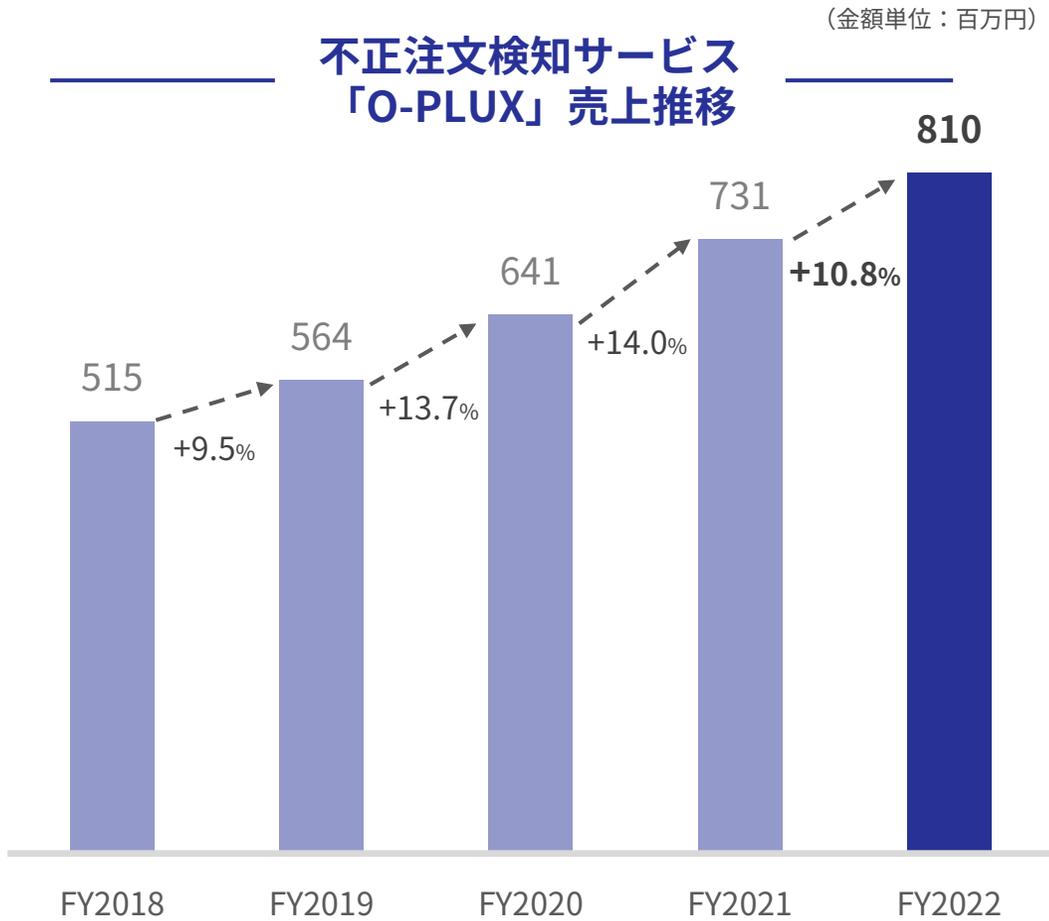
国内不正検知サービスの市場規模



出典：「FRAUD DETECTION AND PREVENTION Global Market Trajectory & Analytics GLOBAL INDUSTRY ANALYSTS.INC. 2021年5月」(1ドル=130円で計算)

Our Business ・ かつこのメインビジネス — かつこの不正検知サービスの売上 —

社会的要請の高まり、不正検知サービス市場規模の拡大に比例し、かつこの不正検知サービスは安定して売上が拡大しています。



Cacco Evolutionary Purpose

未来のゲームチェンジャーの「まずやってみよう」をカタチに

Cacco Evolutionary Purposeには、世の中をよりよくしていこうと挑戦する人や企業に寄り添い、日本経済の発展に貢献していきたいという想いが込められています。

創業当時、インターネット取引における不正は少なく、世の中に十分な機能を備えた不正検知サービスもありませんでしたが、私達は、近い将来、ECをはじめとするあらゆるインターネット取引において、多様かつ膨大な不正行為が発生するであろうと考えていました。

それから約10年、私達の予想通り、不正行為はあらゆるインターネット取引において発生しており、その手口はより複雑化するとともに、さらに進化・拡大を続けております。

『O-PLUX』は、2012年のリリース以降、進化する脅威にも十分対応できるよう開発を重ねてきた結果、現在では日本国内導入数No.1※のご評価をいただいております。

かっこは、今後も、セキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術で新しい価値を作り上げる会社として、Cacco Evolutionary Purposeを実現し、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。



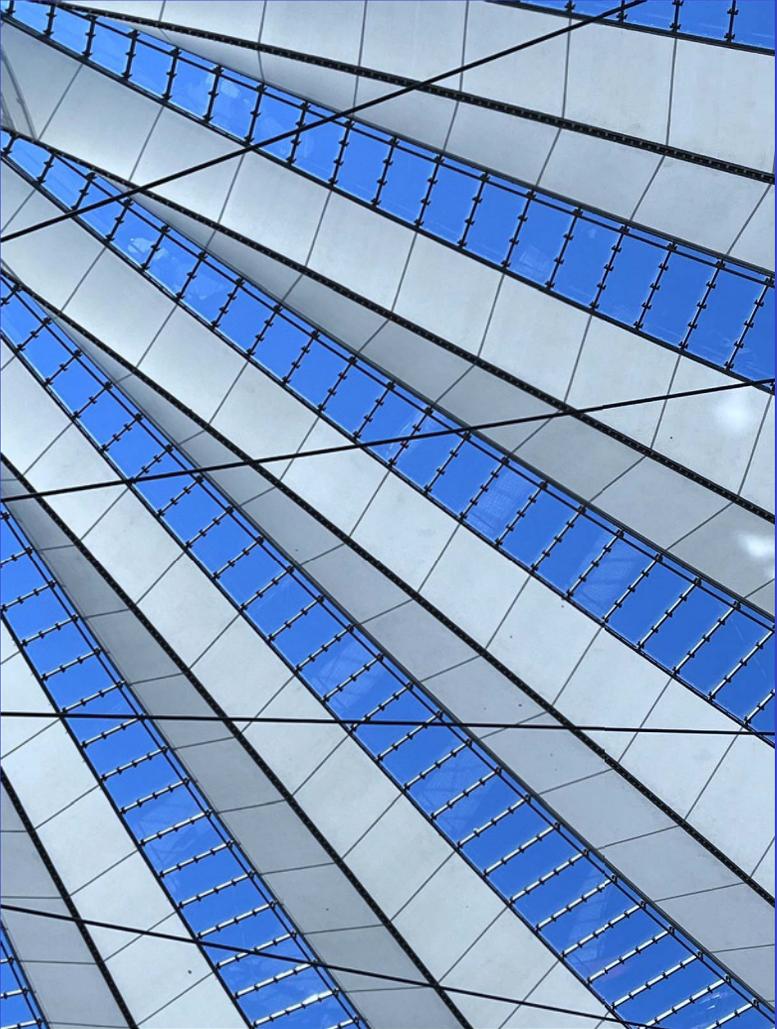
※ 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

目次

- 1 2023年12月期 第3四半期業績
- 2 2023年12月期 通期業績見通し
- 3 成長戦略
- 4 Appendix（会社概要・事業内容・その他参考資料）

2023年12月期 第3四半期業績

Financial Results for the Third Quarter of
the Fiscal Year Ending December 31,2023



2023年12月期 第3四半期業績・数値ハイライト

売上高
(3Q累計)

753百万円

YoY ▲5.5%
計画進捗率 80.6%O-PLUX ストック収益※
(3Q累計)

541百万円

YoY ▲4.0%

※定額課金である月額料金+審査件数に応じた従量課金である審査料金

O-PLUX 解約率
(3Q累計)

0.14%

YoY ▲0.03pt

経常利益
(3Q累計)

▲18百万円

YoY ▲115.1%

全売上高に占めるストック収益比率
(3Q累計)

72.0%

YoY +1.1pt

O-PLUX 審査件数
(3Q累計)

5,076万件

YoY +1.5%

2023年12月期 第3四半期業績・事業進捗サマリー

EC不正検知領域の拡大

■ 不正注文検知サービス「O-PLUX」の領域拡大と機能拡充

- 累計導入実績11万サイトを突破し、4年連続国内No.1を獲得

不正注文検知サービス「O-PLUX」は、2023年5月に東京商工リサーチ調査で、国内における有償の不正検知サービスにおいて、4年連続導入実績数No.1※に。2012年サービス提供開始から12年にわたり「O-PLUX」は調査時点の2023年3月まで、導入実績数は累計で11万サイトを突破。



- IP Geolocation技術の活用による「O-PLUX」の不正検知精度の向上

株式会社Geolocation Technologyが提供する独自のIP Geolocation技術を活用し「O-PLUX」の検知精度がさらに向上。（このIP Geolocation技術のIPv6版では、全世界に存在する膨大なIPアドレスのデータベースと位置、企業情報などを100種類以上の組み合わせによる独自技術で構築されている。）



フィッシング対策機能の拡張

■ フィッシング対策パッケージの機能拡充

- フィッシング対策パッケージの「鉄壁PACK for フィッシング」でフィッシングドメイン検知サービス機能を提供開始

自社のドメインと類似した新たなドメインの取得を検知し、フィッシングサイトデータベースと照合した上で、サイトの運営者にレポート形式でアラート通知を行い、これにより、フィッシングサイトの出現を素早く把握し、適切な対策を講じることが可能に。



海外展開

インドネシアおよびシンガポールでのユースケース創出に向け、サービステスト導入検討企業との交渉と併行し現地代理店が新規顧客開拓を実施中。

テストユーザーと検証方法についても要件定義が進行中。



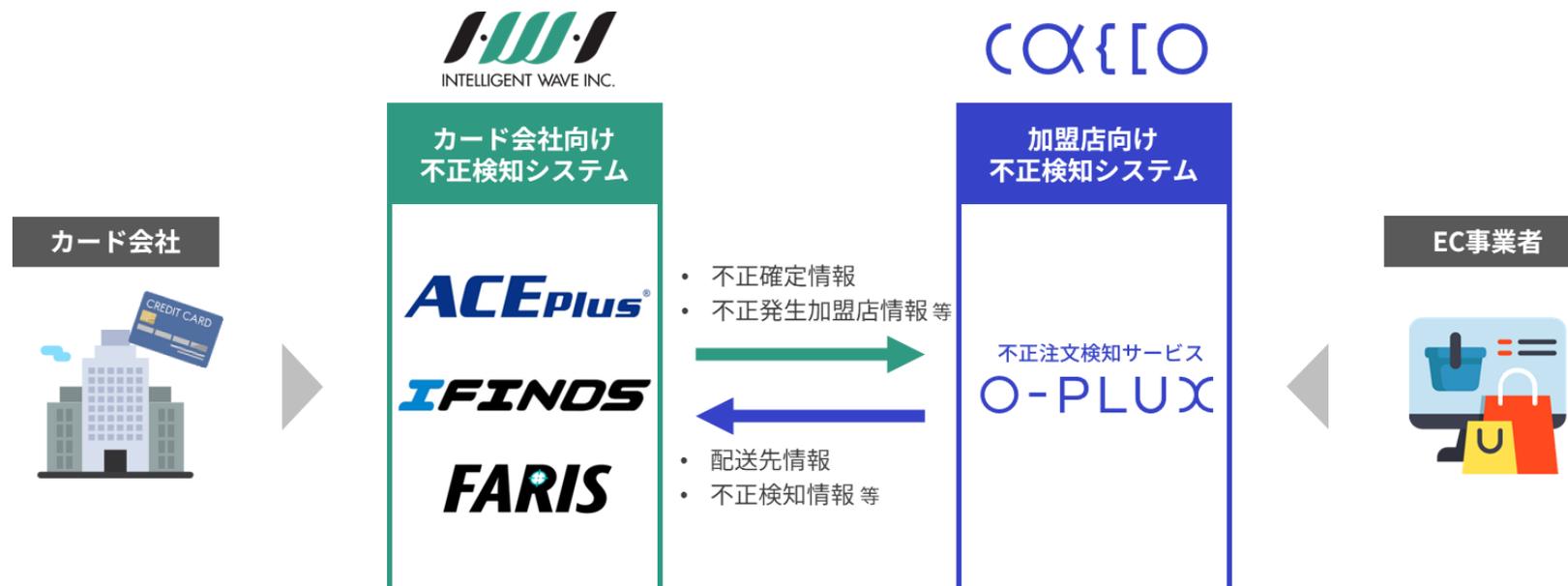
※ 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

2023年12月期 第3四半期業績・事業進捗サマリー・インテリジェント ウェーブ社との協業について

(2023年9月13日付開示)



クレジットカード会社向け不正検知システムでトップシェアの株式会社インテリジェント ウェーブ（以下、IWI）とクレジットカード不正対策強化に向けた協業を開始。双方の不正検知分野の垣根を越えて協業することでより高度な不正対策の実現を目指す。



検討施策①

加盟店（ECサイト）における不正対策強化

クレジットカード会社が保有する取引情報および不正判定結果情報等を不正注文検知サービス「O-PLUX」に活用し、不正被害の抑止を推進。

決済の与信判定前での不正対策を強化することで、業界全体の不正被害額抑止に加え、クレジットカード会社側の不正対策業務負荷の低減を実現させる。

検討施策②

クレジットカード会社における不正対策強化、不正対策業務のDX化

加盟店（ECサイト）側に位置する「O-PLUX」が保有する情報（不正配送先情報、注文情報等）を、IWIが提供するカード会社向け不正検知サービス「ACEPlus」および「IFINDS」へ連携し、クレジットカード会社における不正対策への活用を検討中。さらに、カード会社および加盟店が持つ情報を利活用した、不正対策業務の効率化や自動化についても検討中。

2023年12月期 第3四半期業績・業績数値ハイライト

FY23 3Q累計全体売上高は753百万円 (YoY ▲5.5%)、営業利益は▲8百万円 (YoY ▲106.1%)、経常利益は▲18百万円 (YoY ▲115.1%) で着地。

(金額単位：百万円)

	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	YoY 増減率	FY2023 通期予想	計画進捗率
売上高	796	753	▲5.5%	933	80.6%
(不正検知サービス売上高)	635	615	▲3.0%	761	80.9%
営業利益	134	▲8	▲106.1%	▲187	-
(営業利益率)	16.9%	▲1.1%	▲18.0pt	▲20.0%	-
経常利益	123	▲18	▲115.1%	▲190	-
(経常利益率)	15.6%	▲2.5%	▲18.0pt	▲20.4%	-
当期純利益 (四半期純利益)	80	▲24	▲130.9%	▲190	-

売上高はYoY ▲5.5%の753百万円

- 2023年8月31日付開示の「主要取引先の取引終了に関するお知らせ」にて、当該影響により今期の通期売上高予想を▲23百万円の910百万円としていたものの、不正注文検知サービス「O-PLUX」においてEC事業者（直販）の新規顧客獲得が堅調に進捗したことにより、当初通期予想のまま933百万円を据え置く。3Q累計売上高は753百万円 (YoY ▲5.5%)、計画進捗率80.6%で着地。

営業利益はYoY▲106.1%の▲8百万円

- 前期に引き続きO-PLUXアーキテクチャ刷新による減価償却費のほか、セールスマーケティング・カスタマーサクセスを中心とした増員による体制整備、海外事業展開のためのテストマーケティング・ローカライズなど将来の収益獲得に向けた取り組みに費用を積極投下したことにより、営業利益は▲8百万円 (YoY ▲106.1%) で着地。

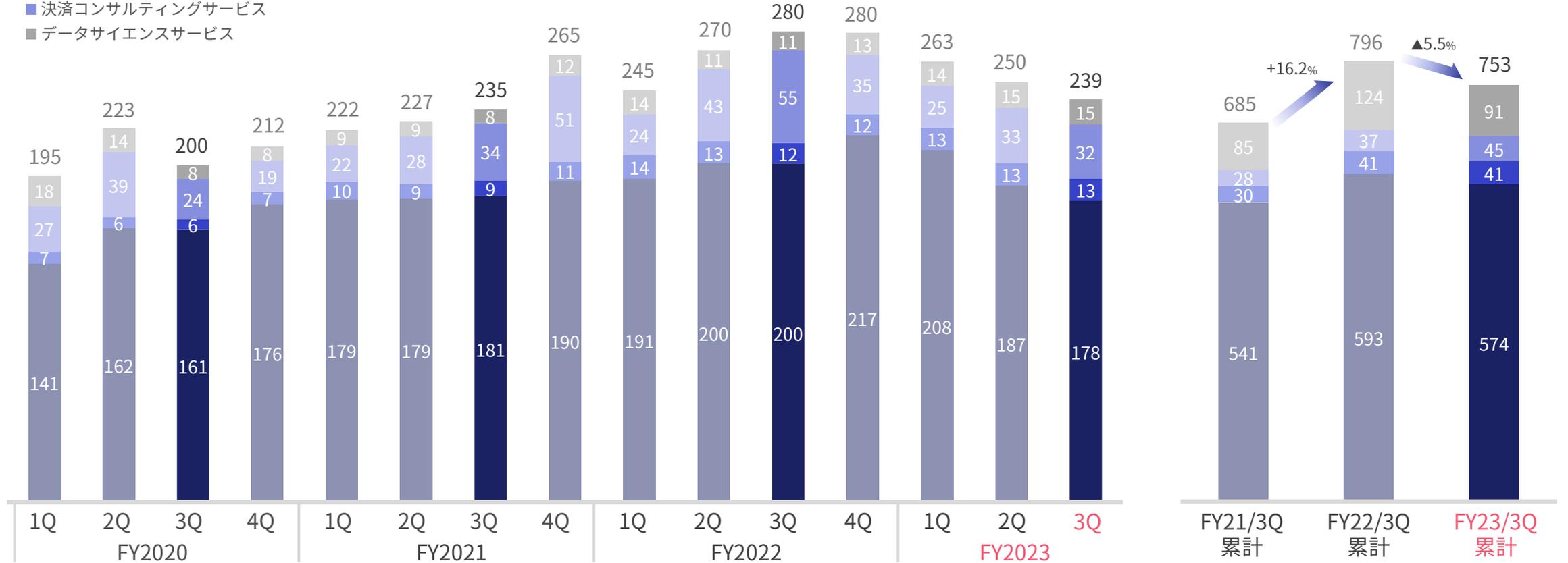
2023年12月期 第3四半期業績・売上高の推移

中核の不正注文検知サービス「O-PLUX」のEC事業者の新規顧客獲得が堅調に進捗し、FY23 3Q累計売上高は753百万円 (YoY ▲5.5%)、計画進捗率80.6%で着地。O-PLUXの売上減少傾向理由は、主要取引先の後払い決済事業撤退に起因するもの(2022年11月9日付開示)。

売上高推移

(金額単位：百万円)

- 不正検知サービス(O-PLUX)
- 不正検知サービス(O-MOTION)
- 決済コンサルティングサービス
- データサイエンスサービス

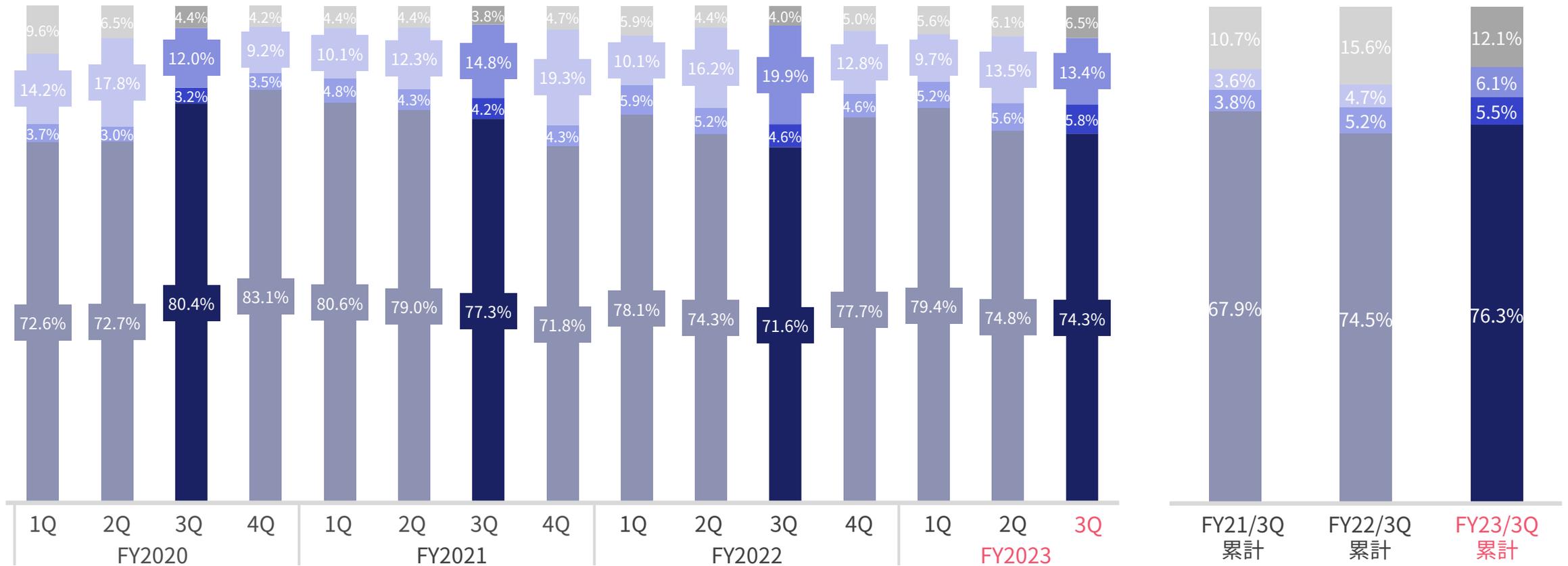


2023年12月期 第3四半期業績・サービス別売上高構成比の推移

中核である不正検知サービスのFY23 3Q累計売上高構成比は81.8% (YoY+2.1pt) に着地。

サービス別売上高構成比推移

■ 不正検知サービス(O-PLUX) ■ 不正検知サービス(O-MOTION) ■ 決済コンサルティングサービス ■ データサイエンスサービス



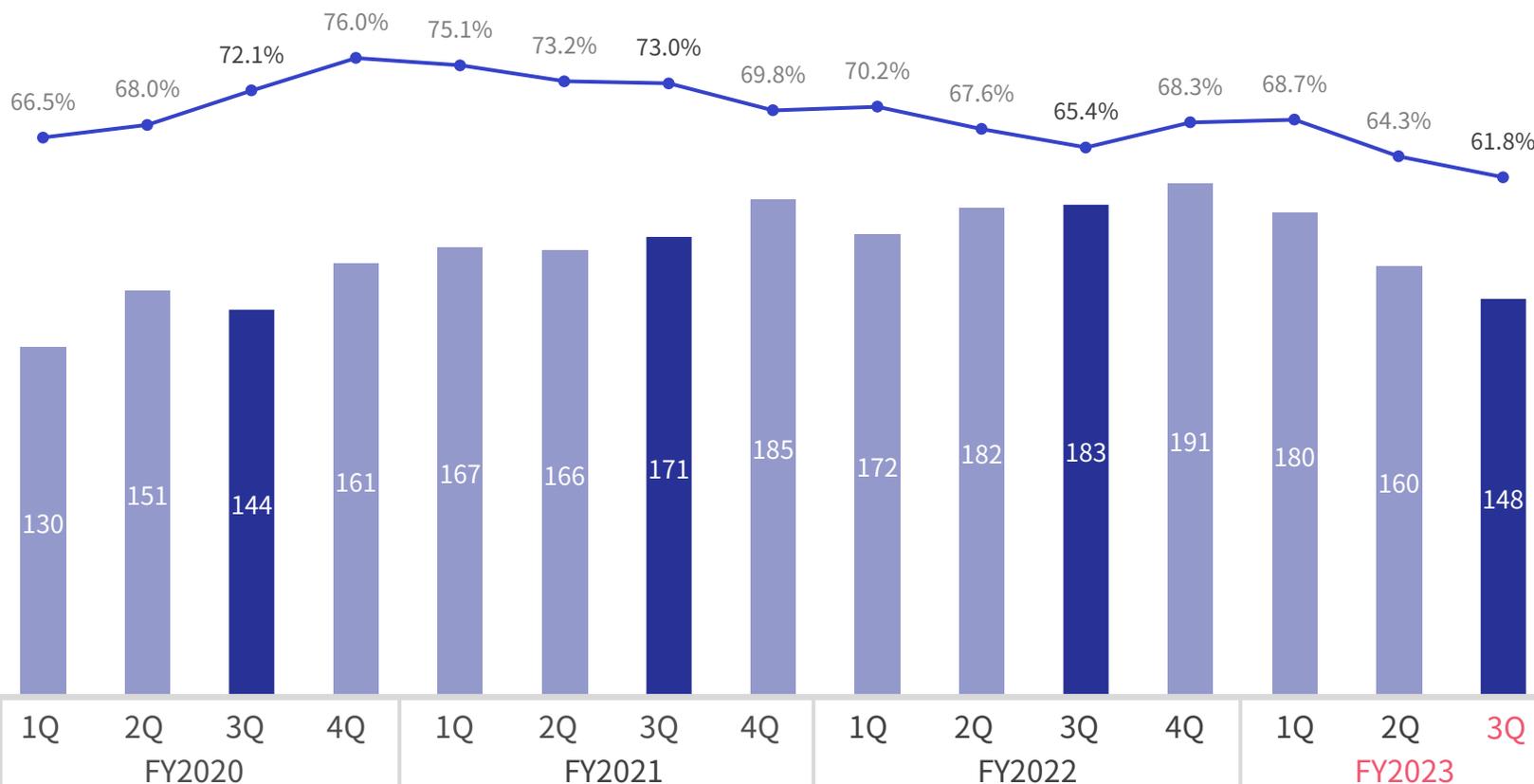
2023年12月期 第3四半期業績・売上総利益の推移

FY23 3Q累計売上総利益率は65.0% (YoY▲2.6pt)、金額ベースでは489百万円 (YoY▲9.0%) で着地。

- サーバー費/データ費の増加は主に円安、審査件数増加およびSaaS型BNPLシステム提供開始の影響。

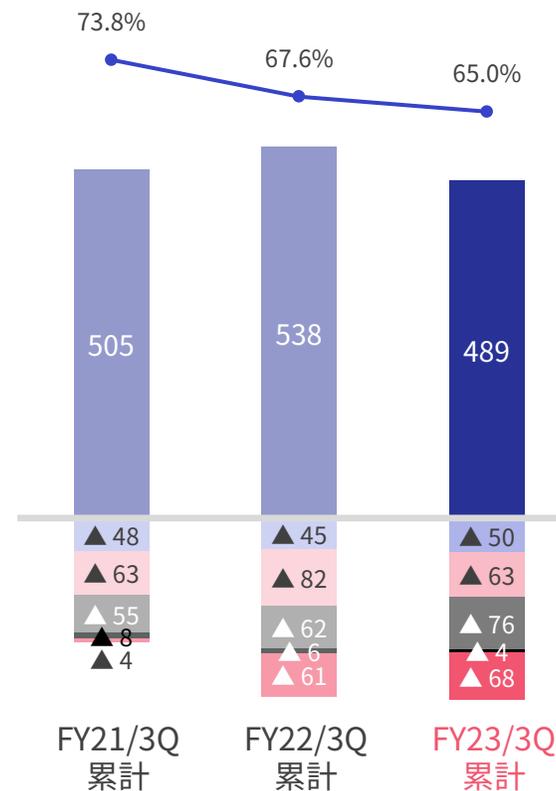
売上総利益推移

■ 売上総利益 ● 売上総利益率



(金額単位：百万円)

- 労務費
- 外注加工費
- サーバー費/データ費
- その他
- 減価償却費



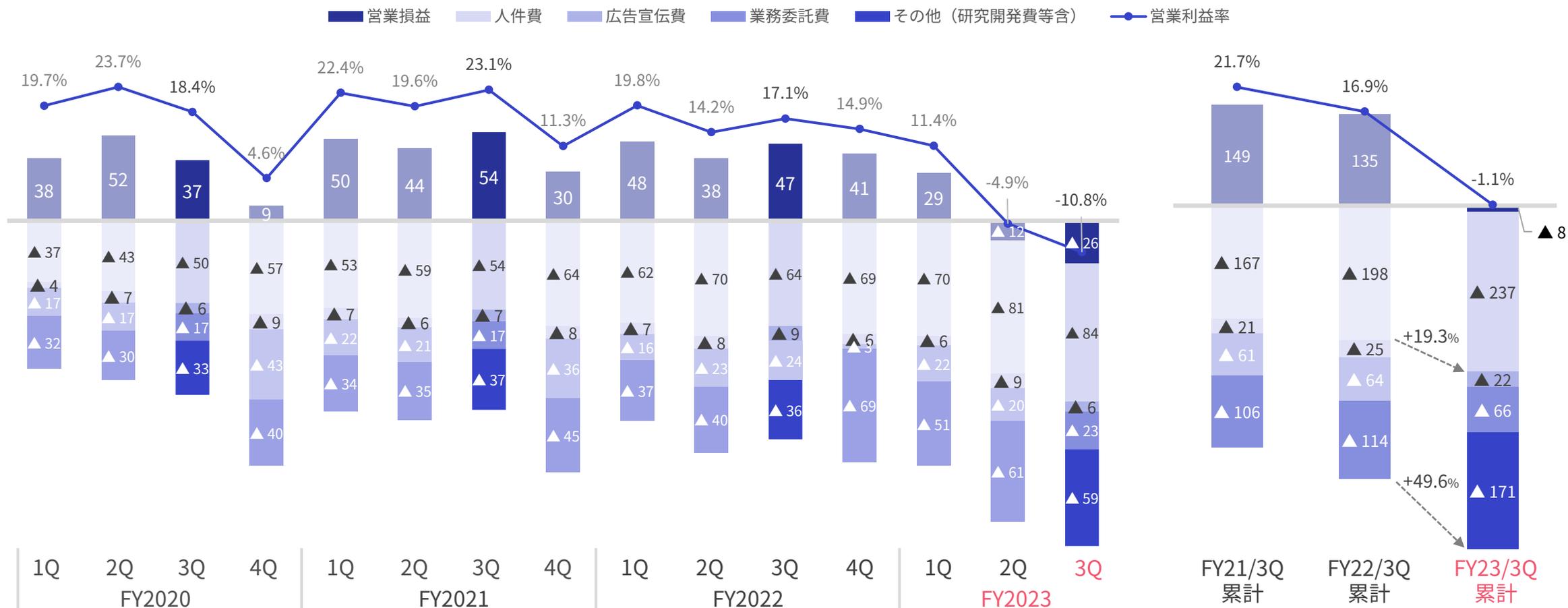
2023年12月期 第3四半期業績・営業利益・販売費及び一般管理費の推移

FY23 3Q累計営業利益は▲8百万円 (YoY ▲106.1%)、営業利益率は▲1.1% (YoY ▲18.0pt) で着地。

- セールスマーケティング・カスタマーサクセスを中心とした組織体制強化による人件費増加、その他（研究開発費）の増加による影響。

営業利益・販売費及び一般管理費推移

(金額単位：百万円)



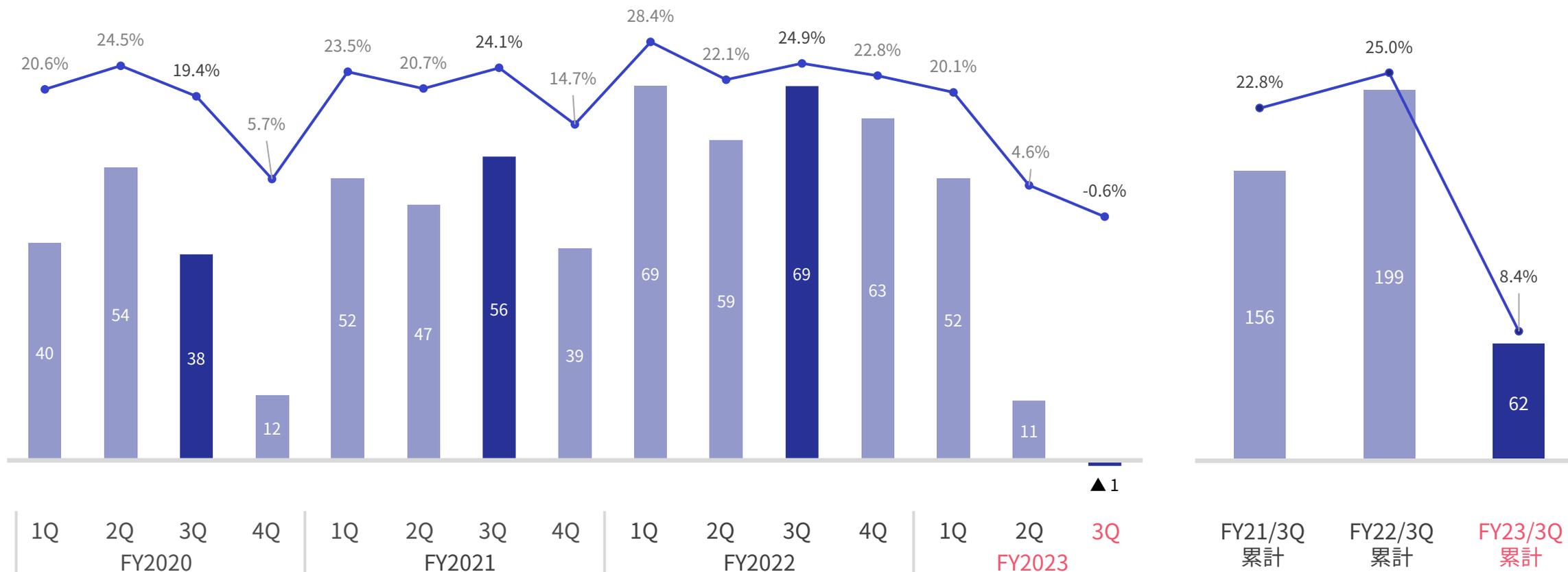
2023年12月期 第3四半期業績・EBITDAの推移

FY23 3Q累計EBITDAは62百万円 (YoY ▲68.4%)、EBITDAマージンは8.4% (YoY ▲16.7pt)。

- 前頁同様セールスマーケティング・カスタマーサクセスを中心とした組織体制強化による人件費増加、業務委託費、その他（研究開発費）の増加による影響。

EBITDA推移

(金額単位：百万円)



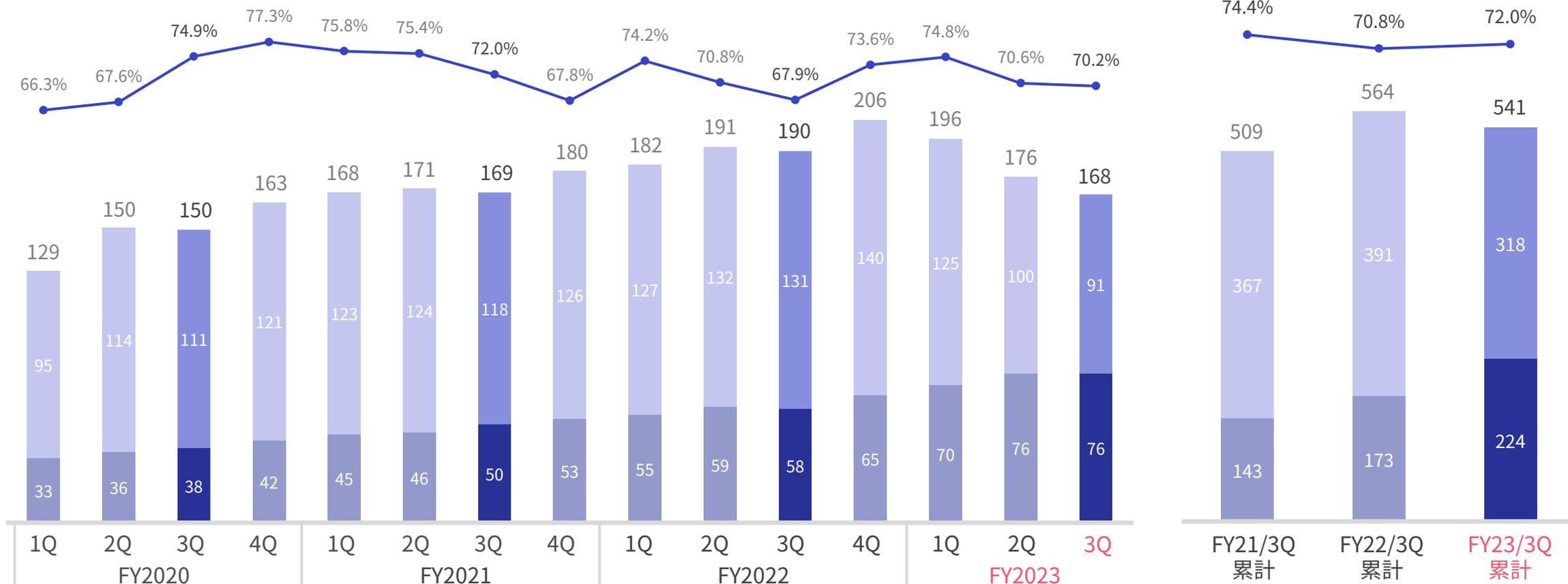
2023年12月期 第3四半期業績・「O-PLUX」のストック収益の推移

FY23 3Q累計「O-PLUX」のストック収益は541百万円 (YoY▲4.0%)、ストック収益率は72.0% (YoY+1.1pt) に着地。

- EC事業者(直販)への拡販が進捗し、月額固定料金は順調に増加傾向。審査料金の低下は主要取引先の後払い決済事業撤退による影響。

「O-PLUX」のストック収益の推移

(金額単位：百万円)



※ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（「不正チェッカー」を含む）

※ストック収益率＝ストック収益÷売上高（全サービス合計）

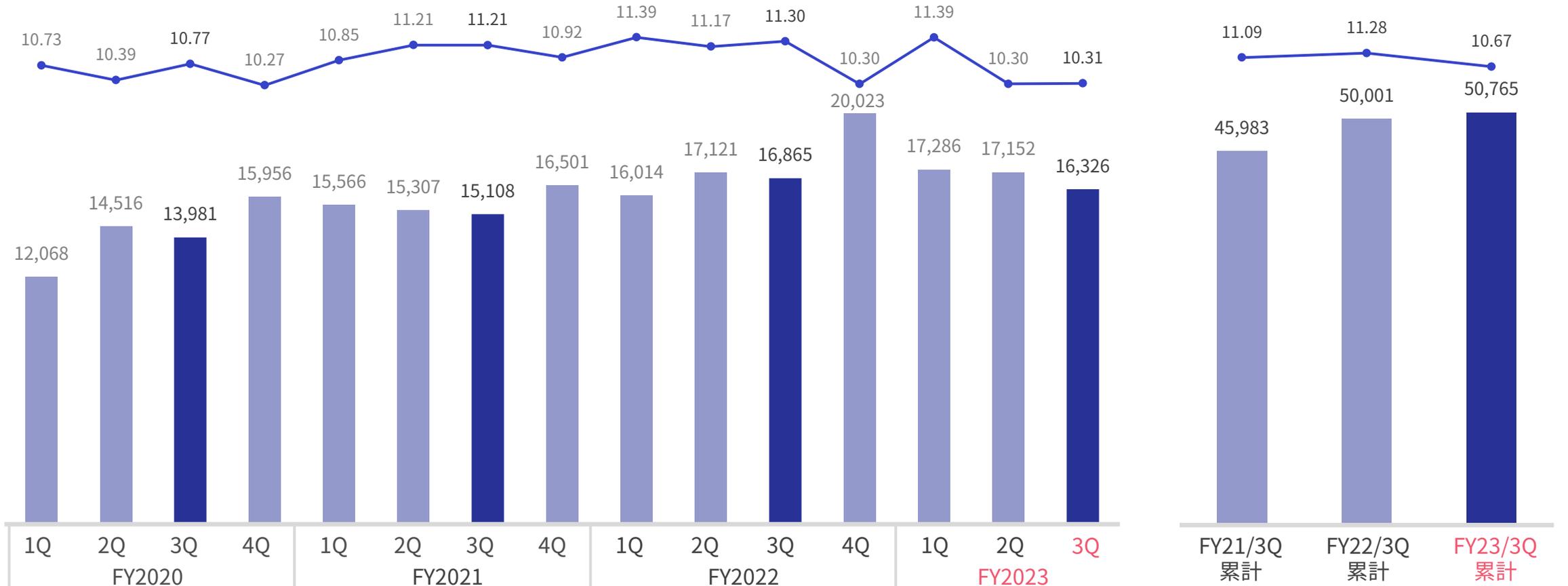
© Cacco Inc.

2023年12月期 第3四半期業績・「O-PLUX」の審査件数の推移

「O-PLUX」の審査件数は、EC事業者の新規顧客獲得が堅調に推移し、FY23 3Q累計50,765千件（YoY+1.5%）に。

「O-PLUX」 審査件数・1審査件あたりのストック収益推移

(金額単位：円)
(件数単位：千件)

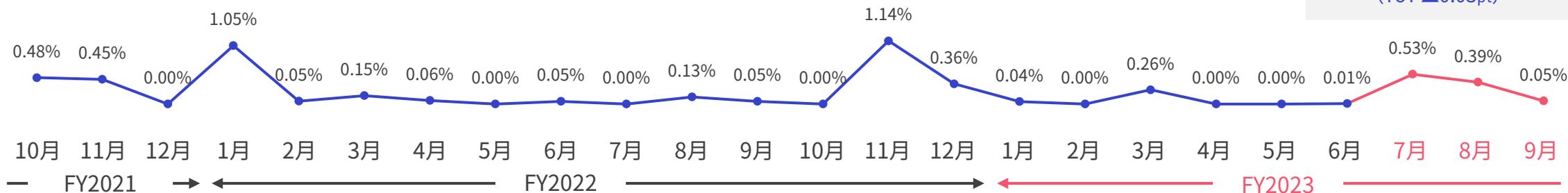


※ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（「不正チェッカー」を含む）

2023年12月期 第3四半期業績・「O-PLUX」月次解約率の推移

「O-PLUX」の月次解約率は引き続き低位で推移し、ネガティブチャーンを継続。JPaS社※1およびGMO-PS社※2の解約は2023年9月末であるため、解約率への影響はFY23 4Qになる見込み。

Gross解約率



※Gross解約率=当月解約ストック収益の年間平均÷当月初時点のストック収益

Net解約率



※Net解約率=(当月解約ストック収益の年間平均-当月新規ストック収益)÷当月初時点のストック収益

※1 JPaaS社：ジャックス・ペイメント・ソリューションズ株式会社
 ※2 GMO-PS社：GMOペイメントサービス株式会社

2023年12月期 第3四半期業績・貸借対照表

(金額単位：百万円)

	FY2023 2Q	FY2023 3Q	QoQ 増減率	主な要因
流動資産	1,059	1,139	+7.5%	現金および預金の増加
(現 預 金)	929	1,000	+7.6%	
固定資産	457	443	▲3.0%	
総 資 産	1,517	1,583	+4.3%	
流動負債	112	128	+14.3%	未払金の増加等
固定負債	0	85	-	長期借入金の増加
純 資 産	1,404	1,368	▲2.6%	四半期純損失の計上による利益剰余金の減少
自己資本比率	92.6%	86.4%	▲6.1pt	

2023年12月期 通期業績見通し

Forecast Financial Results of FY2023



2023年12月期 通期業績見通し・サマリー

(金額単位：百万円)

	FY2022 実績	FY2023 予想	YoY 増減率
売上高	1,076	933	▲13.3%
(不正検知サービス売上高)	865	761	▲12.0%
営業利益	176	▲187	-
(営業利益率)	16.4%	▲20.0%	-
経常利益	154	▲190	-
(経常利益率)	14.3%	▲20.4%	-
当期純利益	100	▲190	-
EPS (円)	38.16円	▲72.33円	-

売上高 YoY ▲13.3%

今期計画に織込済みであるジャックス・ペイメント・ソリューションズ株式会社のBNPL決済サービス事業撤退による取引終了に加え、新たにGMOペイメントサービス株式会社との取引が終了となるものの、不正検知サービス「O-PLUX」におけるEC事業者（直販）の新規顧客獲得が堅調に推移し、売上高予想は当初予想の933百万円（YoY ▲13.3%）を見込む。

営業利益 YoY ▲205.9%

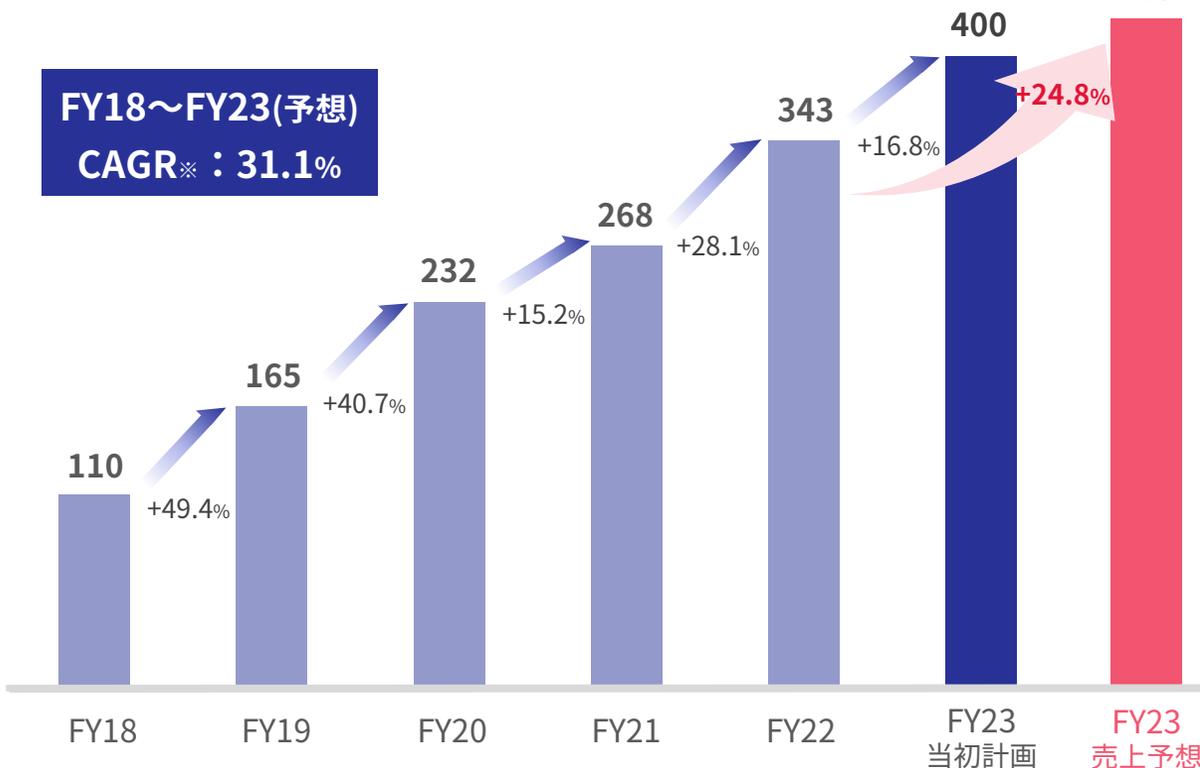
ソフトウェア（O-PLUXアーキテクチャ刷新・SaaS型BNPLシステム）に係る減価償却費の増加に加え、将来の収益拡大のための成長戦略に基づいて前期を上回る積極的な投資・費用投下を実施予定のため、営業利益はYoY ▲363百万円を見込む。

2023年12月期 通期業績見通し・着実な戦略実行による収益構造の転換 -不正検知サービス-

2023年2023年9月末日で2022年12月期売上高構成比の30.4%を占めるジャックス・ペイメント・ソリューションズ株式会社のBNPL事業終了に加え、同構成比22.0%を占めるGMOペイメントサービス株式会社との取引が終了。
 2023年12月期以降の不正検知サービス売上に大きく影響が見込まれるものの、従前より進めている成長戦略の1つである「EC不正検知領域の拡大戦略」により決済事業者依存の収益構造について転換を図る。

不正検知サービス「O-PLUX」における EC事業者（直販）の売上推移

(金額単位：百万円)



EC不正検知領域の拡大戦略

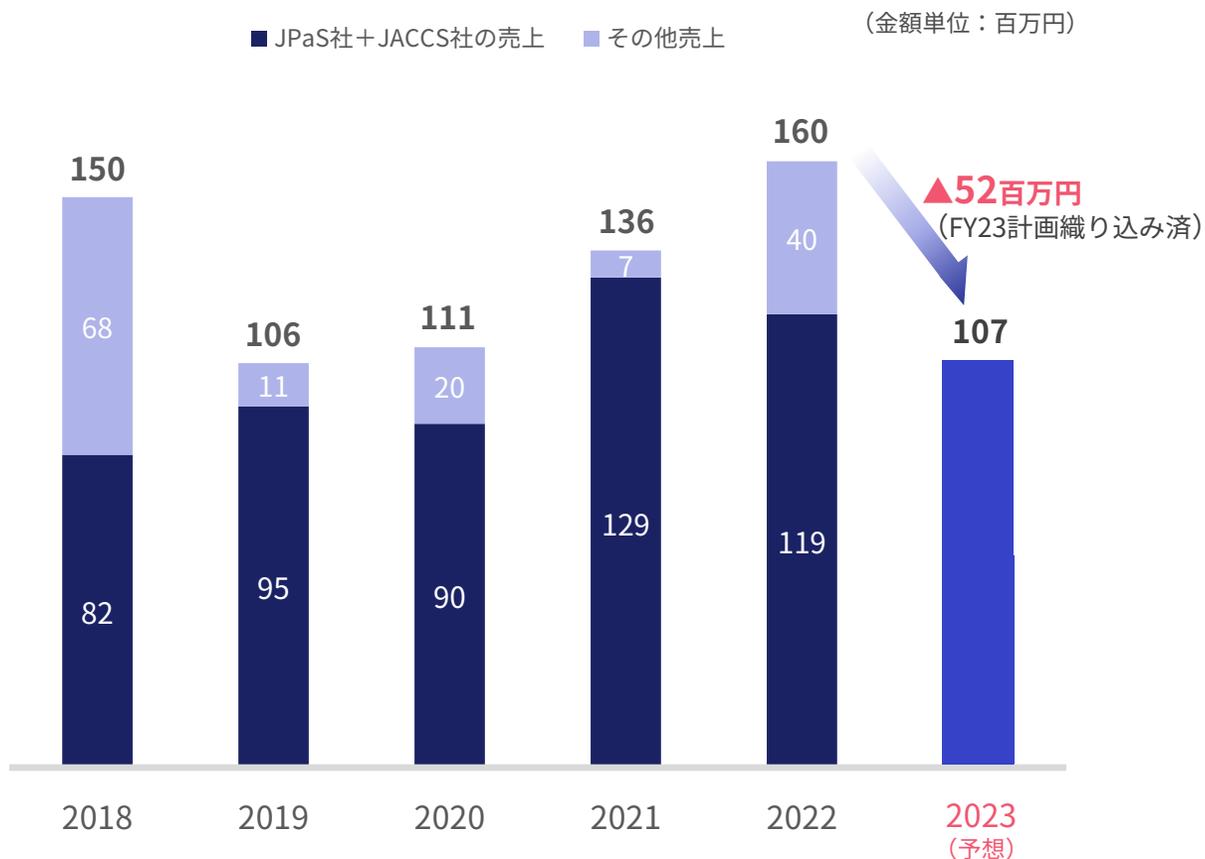


※CAGR: 「Compound Annual Growth Rate、複数年間成長率」複数年にわたる成長率から、1年あたりの幾何平均を求めたもの。

2023年12月期 通期業績見通し・着実な戦略実行による収益構造の転換 ー決済コンサルティングサービスー

JPaS社のBNPL事業終了により、2023年12月期以降の決済コンサルティングサービスの売上に大きく影響が見込まれるものの、「SaaS型BNPLシステム」のリリースによりBNPL市場への参入障壁を下げ、これまでBNPLを導入することができなかった決済事業者以外の事業者へもサービスを展開する。

—— 決済コンサルティングサービス売上推移 ——



SaaS型BNPLシステムのめざすもの



東南アジア市場を中心とした
海外事業者に向けたBNPLの展開



決済事業者だけでなく、
**ECショッピングカート・大手EC事業者など
へBNPLの展開**

国内BNPL決済の市場規模※

2026年 約**2兆円**

2023年 約**1.5兆円**

※出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2023年版」

2023年12月期 通期業績見通し・収益貢献の早期化による収益構造転換・ビジネスドメインの拡大



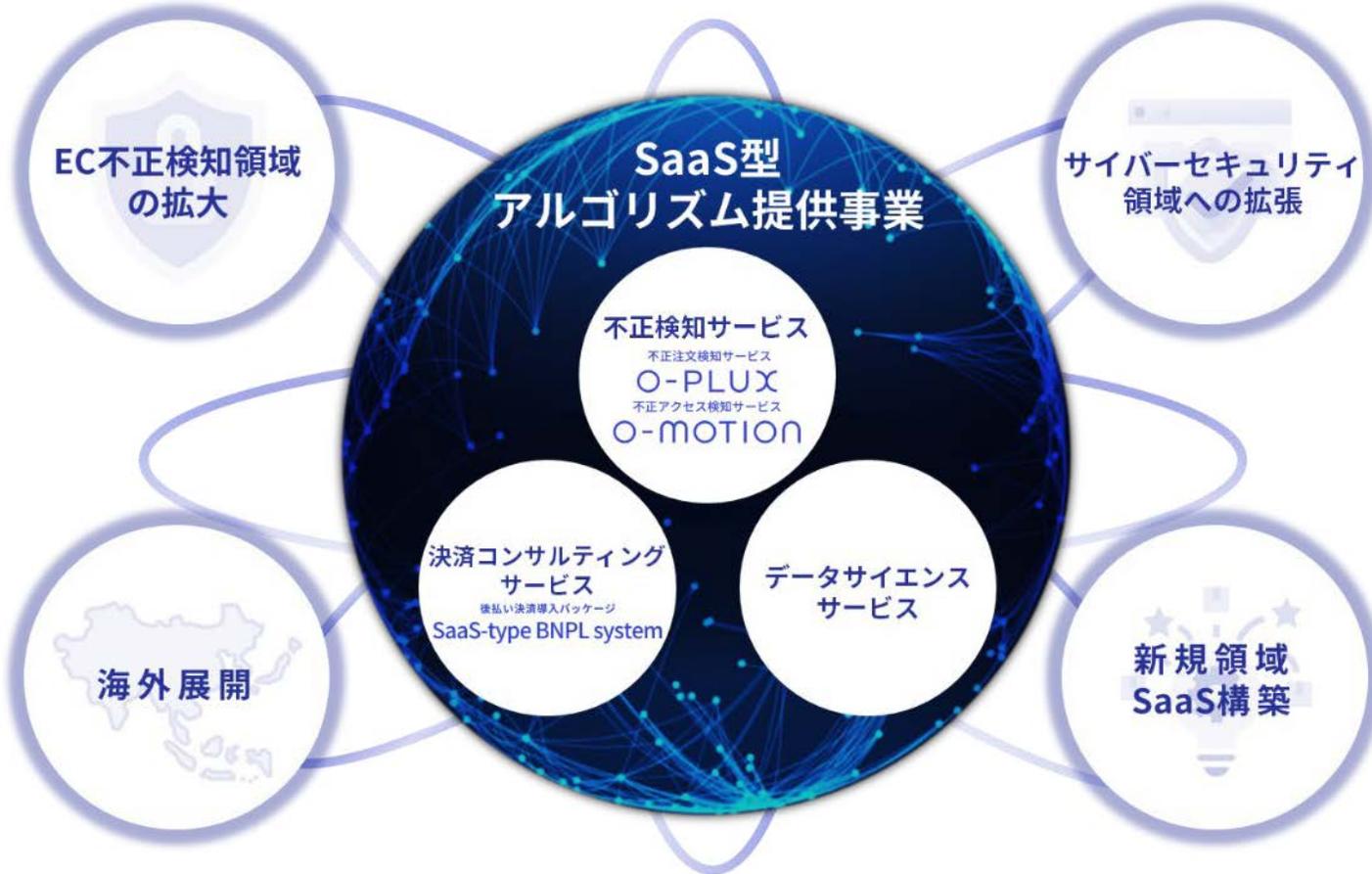
※PMF: 「Product Market Fit」 (プロダクトマーケットフィット)、製品 (サービスや商品) が特定の市場において適合している状態のこと。

→ = 従前の進捗計画

2023年12月期 通期業績見通し・将来の収益拡大のための投資

将来の収益拡大のための成長戦略に基づいて前期を上回る積極的な投資・費用投下を実施予定。

- 連携機能開発
- アライアンス・セールス体制強化



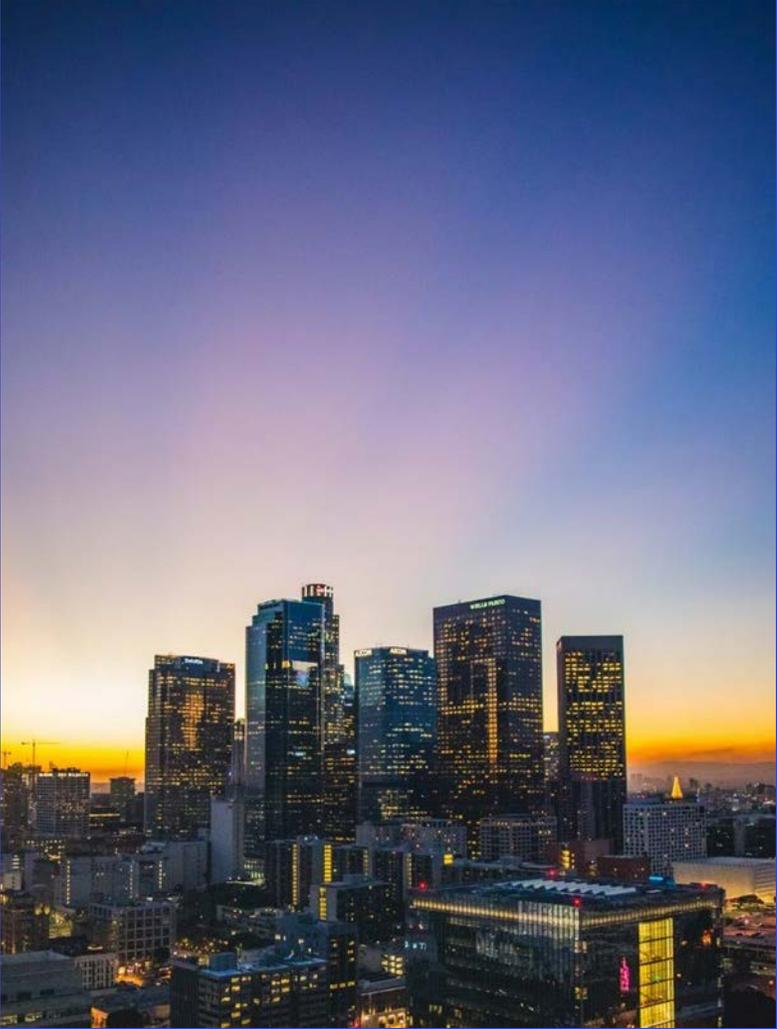
- 連携機能開発
- プロダクト研究開発

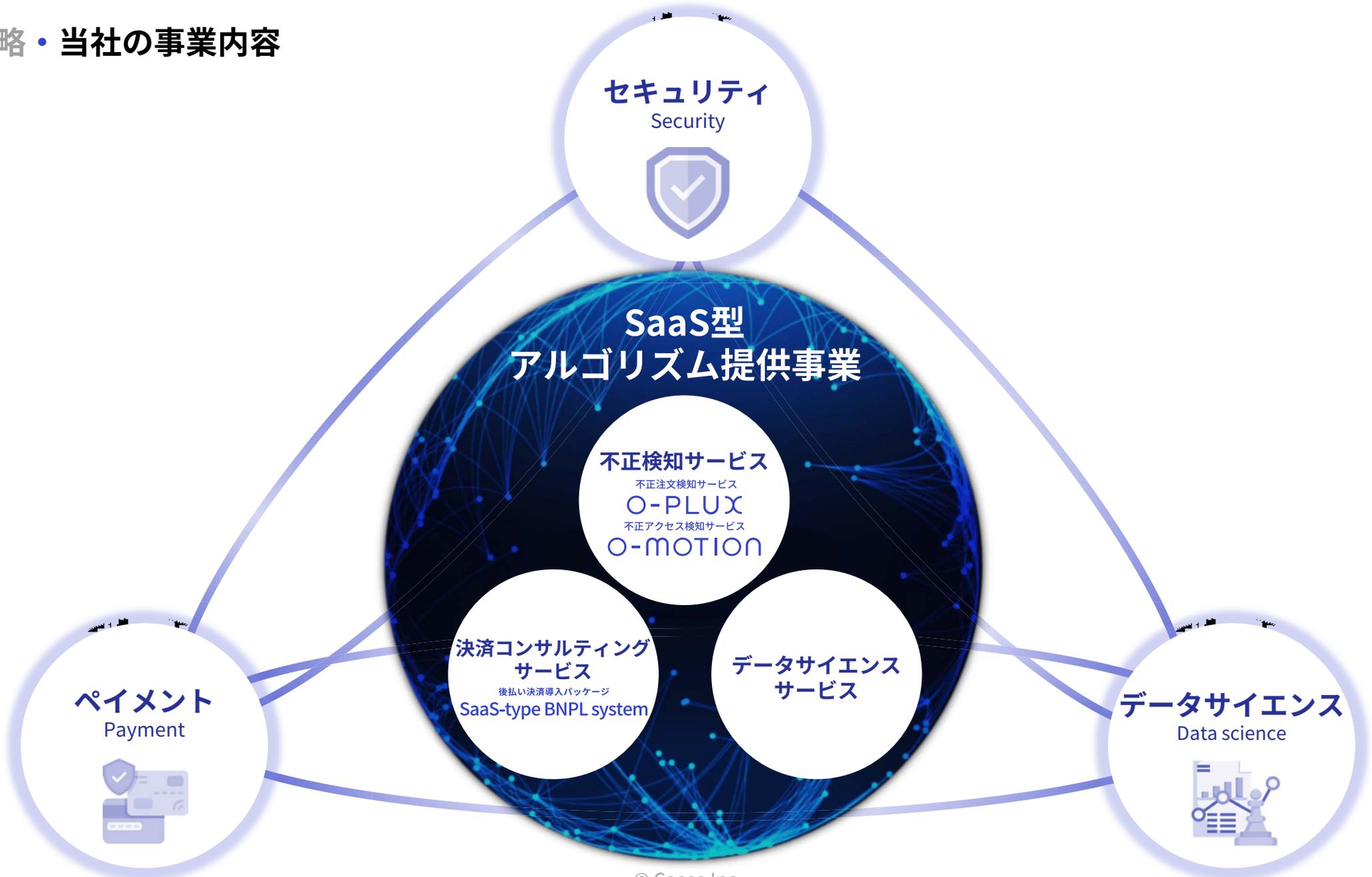
- マーケット調査
- プロダクト研究開発
- ローカライズ開発

- プロダクト研究開発

成長戦略

Growth Strategy





成長戦略・収益貢献の早期化による収益構造転換・ビジネスドメインの拡大



※PMF: 「Product Market Fit」 (プロダクトマーケットフィット)、製品 (サービスや商品) が特定の市場において適合している状態のこと。

成長戦略・事業拡大に向けた4つの成長戦略

4つの成長戦略により、不正検知サービスを中心に事業拡大を加速し、自ら市場を創出する。



成長戦略・EC不正検知領域の拡大 — 不正注文検知サービス「O-PLUX」の成長戦略 —



今後、不正被害の社会問題化や規制強化等により、不正検知の需要は確実に拡大するものと想定。
3つの戦略により「O-PLUX」の更なる成長を図る。



成長戦略・サイバーセキュリティ領域への拡張



技術開発とともにM&A・アライアンスも視野に入れ、サイバーセキュリティ領域への事業拡張を進める。

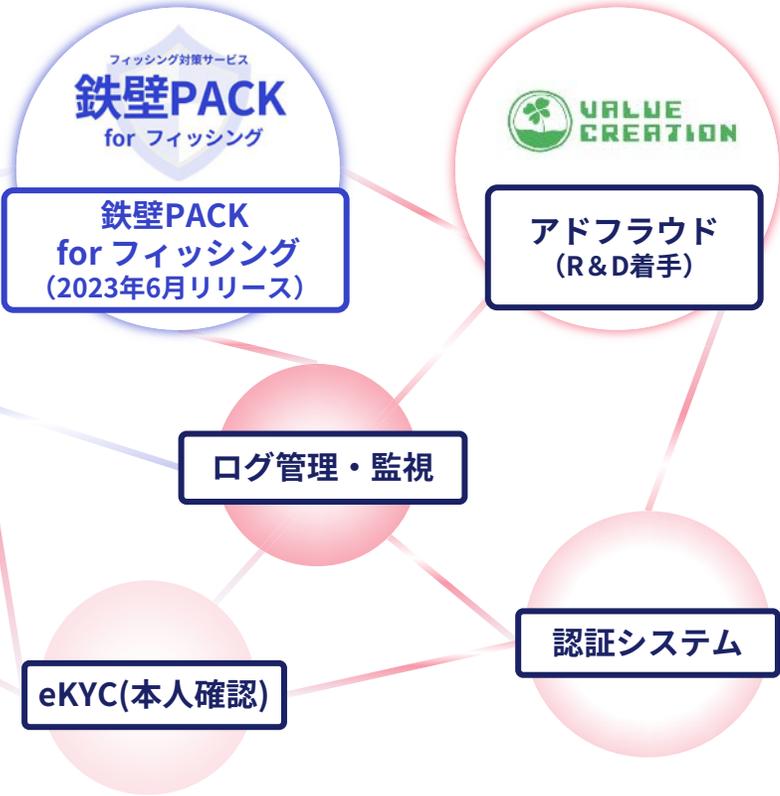
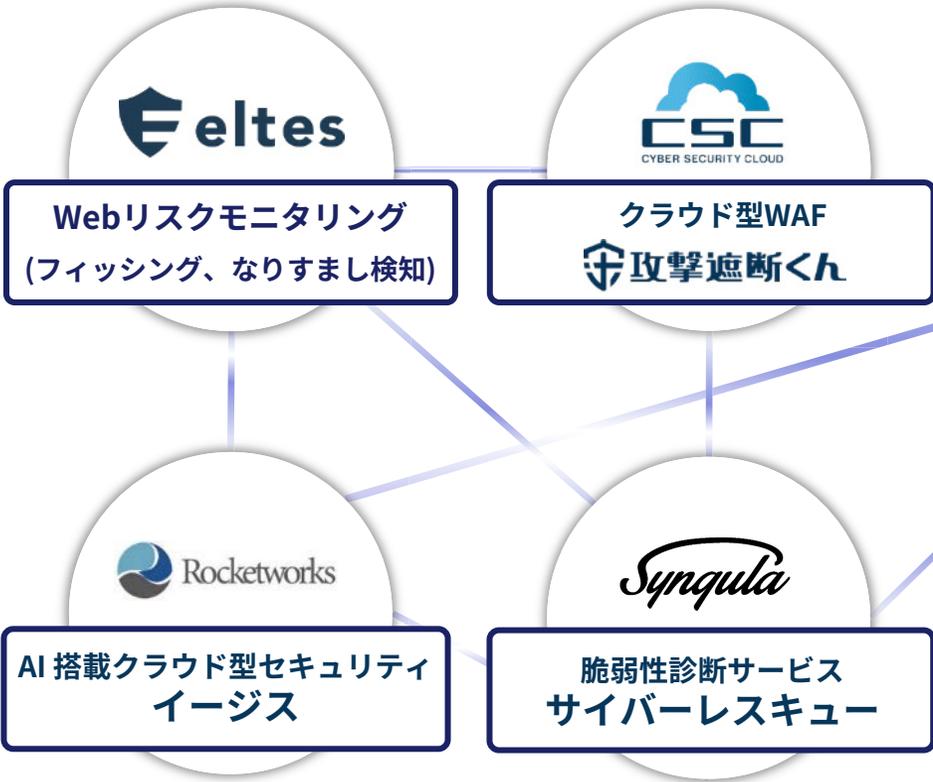
既存アライアンス

新領域

COXIO

不正注文検知サービス
O-PLUX

不正アクセス検知サービス
O-MOTION



成長戦略・フィッシング対策パッケージ「鉄壁PACK for フィッシング」の提供



近年急増しているフィッシング詐欺の対策として、不正アクセス検知サービス「O-MOTION」をコアにしたフィッシング対策パッケージ「鉄壁PACK for フィッシング」を提供開始（2023年6月リリース）。

日本国内におけるフィッシング被害

顧客情報・アカウント情報
個人情報漏えい



2022年

165件

592万人分

インターネットバンキング
不正送金



2022年

1,136件

15億円

ネットショッピング
クレカ不正利用



2022年

番号盗用被害額

411億円



フィッシングメール対策支援

- DMARCレポート集計/可視化
- DMARC認証失敗率急増を通知

フィッシングドメイン検知

- 類似ドメイン検知
- フィッシングサイトDB照合
- レポート/アラート通知

なりすましログイン検知

不正アクセス検知サービス
O-MOTION

オプションサービス

サイバーセキュリティ支援

- 脆弱性診断
- IPS/IDS、WAF等のご提案
- デジタルフォレンジック
- コンサルティング他

フィッシングサイト
テイクダウン代行

フィッシングサイト監視

フィッシングSNS監視

複数要素認証
(リスクベース認証)

クレカ不正利用・悪質転売
クレジットカード検知

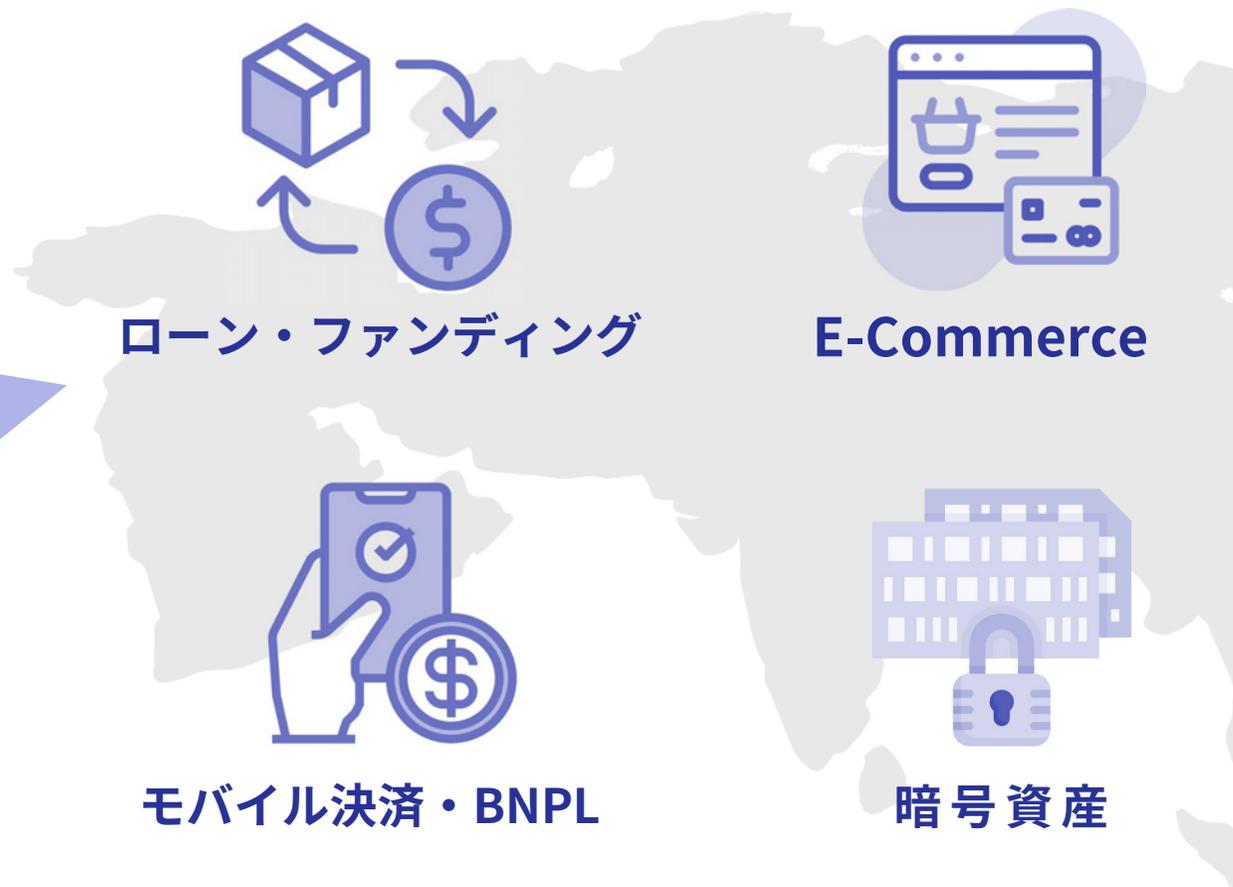
不正注文検知サービス
O-PLUX

※1：株式会社東京商工リサーチ「2022年『上場企業の個人情報漏洩・紛失事故』調査」
 ※2：出典：警察庁「令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」
 ※3：一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」

成長戦略・海外展開



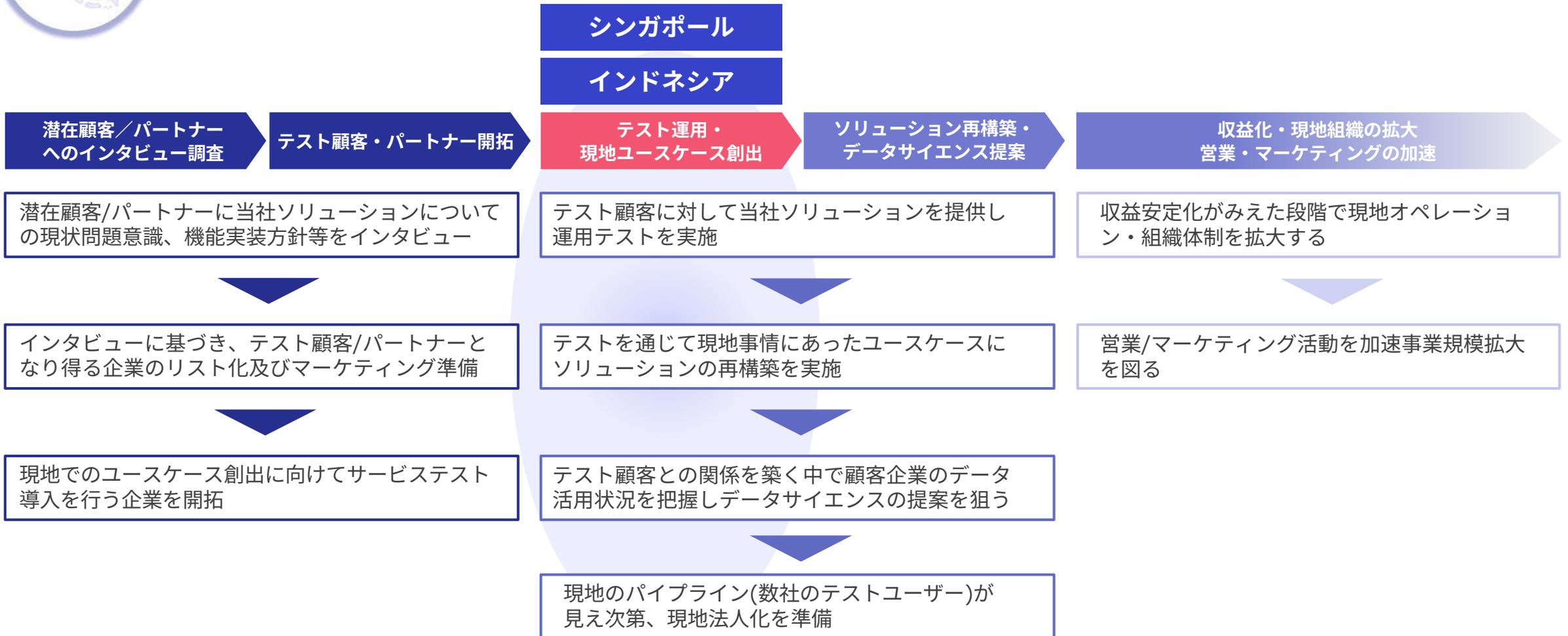
これまで培ってきたサービス・ノウハウを活用し、東南アジアへ向けてEC・金融領域のサービス展開予定。



成長戦略・海外展開のロードマップ



インドネシアおよびシンガポールでのユースケース創出に向けて現在サービステスト導入検討企業との交渉と併行し、現地代理店が新規顧客開拓を実施中。
 テストユーザーと検証方法についても要件定義が進行中。



成長戦略・新たなBNPL市場の創出・「SaaS型BNPLシステム」をリリース



豊富なBNPLの与信実績と決済コンサルティングのノウハウをもとに「SaaS型BNPLシステム」を提供開始

- 初期投資と運用コストを最小限に抑えることでBNPLへの参入障壁を下げ、これまでBNPLに参入・導入できなかった決済事業者以外へもBNPLを展開することで、新たなBNPL市場を創出。

後払い決済導入パッケージ

SaaS-type BNPL system の特徴

	自社開発	他社決済/OEM利用	後払い決済導入パッケージ SaaS-type BNPL system
初期投資	1億円以上のシステム投資が必要	他社利用のため初期投資は少額	SaaS型のため 初期費用200万円 から提供可能
サービス開始までの期間	1年以上のシステム開発期間	システム接続のみで利用開始可能	システム接続のみで利用開始可能
収益性	自社運営のため収益性のコントロールが可能	手数料発生で収益性は低い	運用コストを抑え 手数料以上の収益率を確保
後払いデータの利活用	自社運営のため決済データが利用可能	決済データの利用不可	決済データの マーケティングへの活用 が可能
独自ニーズへの対応	自社開発のため対応可能	要望に応じたカスタマイズ不可	要望に応じたカスタマイズが可能

SaaS型BNPLシステムのめざすもの



東南アジアを中心とした海外市場に向けたBNPLの展開



決済事業者だけでなく、**ECショッピングカート・大手EC事業者などへBNPLの展開**

国内BNPLの市場規模※

2026年 約**2兆円**

2023年 約**1.5兆円**

※出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2023年版」

成長戦略・市場規模・日本のEC市場の成長と不正被害の拡大

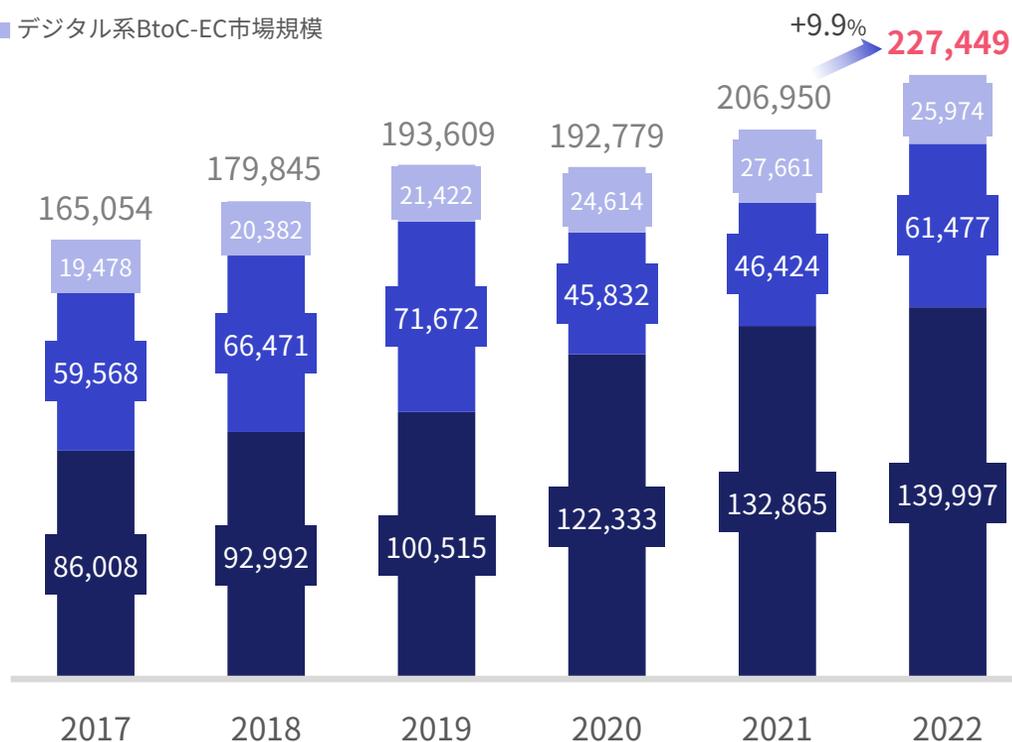
EC市場の成長に比例してクレジットカードの不正被害（番号盗用被害）が拡大。

- 割賦販売法改正、「クレジット・セキュリティ対策ビジョン2025」が公表される等、不正対策に対する社会的需要が高まっている。

日本のBtoC-EC市場規模

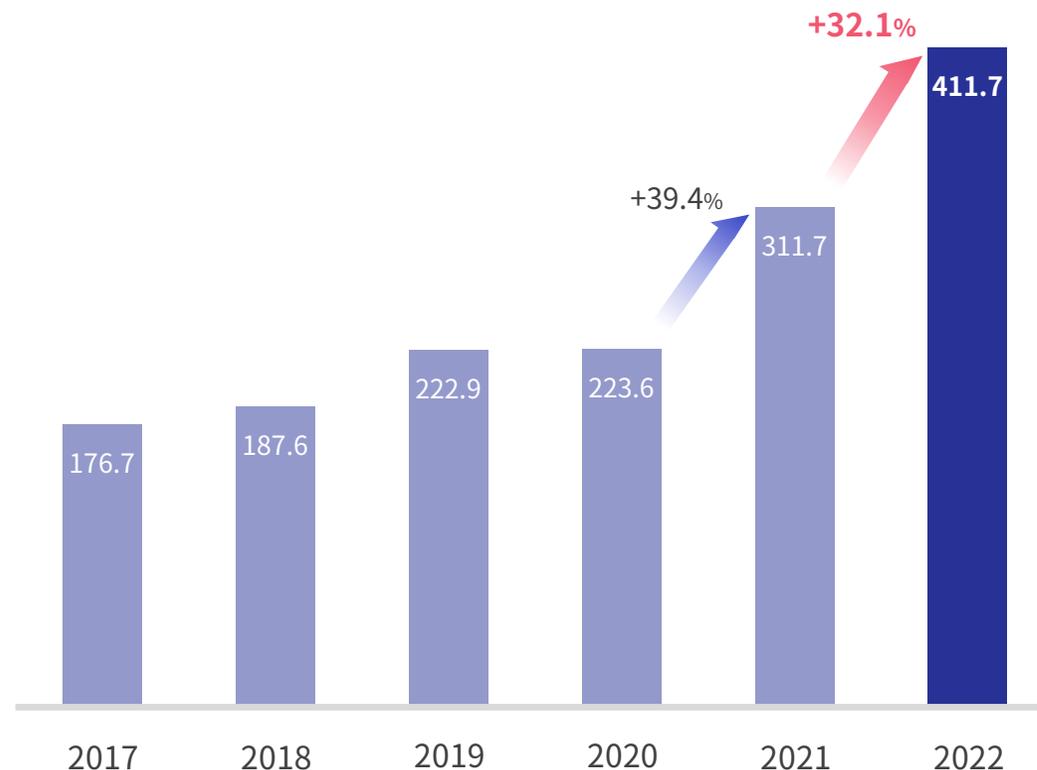
(金額単位：億円)

- 物販系BtoC-EC市場規模
- サービス系BtoC-EC市場規模
- デジタル系BtoC-EC市場規模



日本のクレカ不正被害額（番号盗用）

(金額単位：億円)

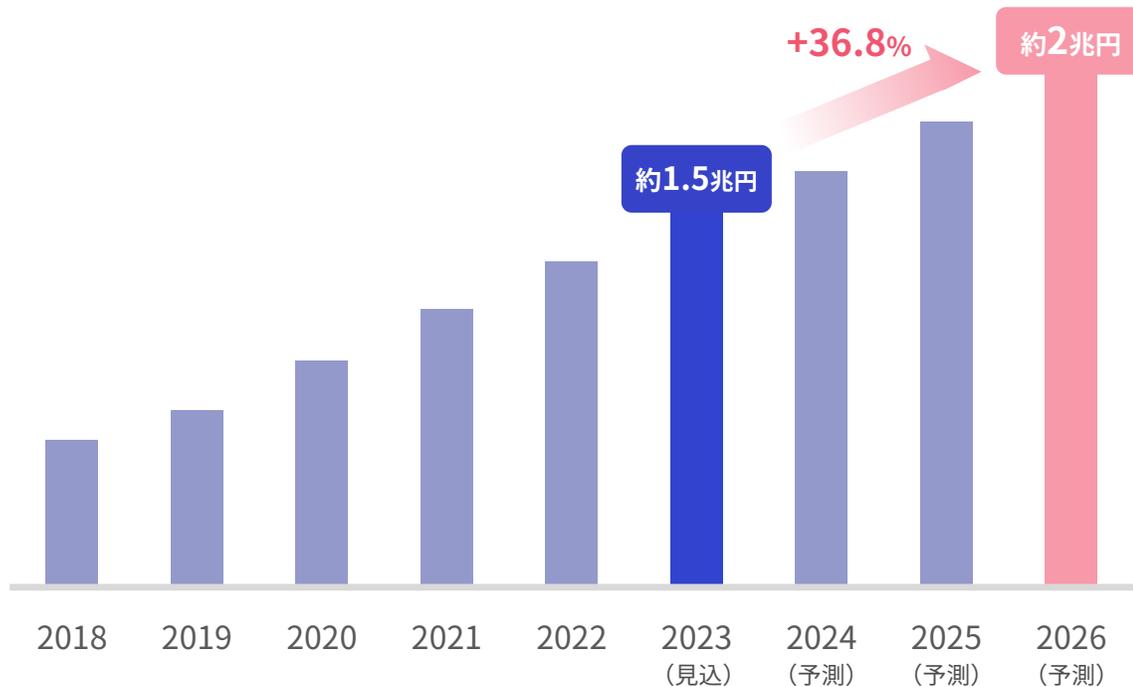


出典：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和3年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」
一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」2023年3月

成長戦略・市場規模・BNPL市場の拡大

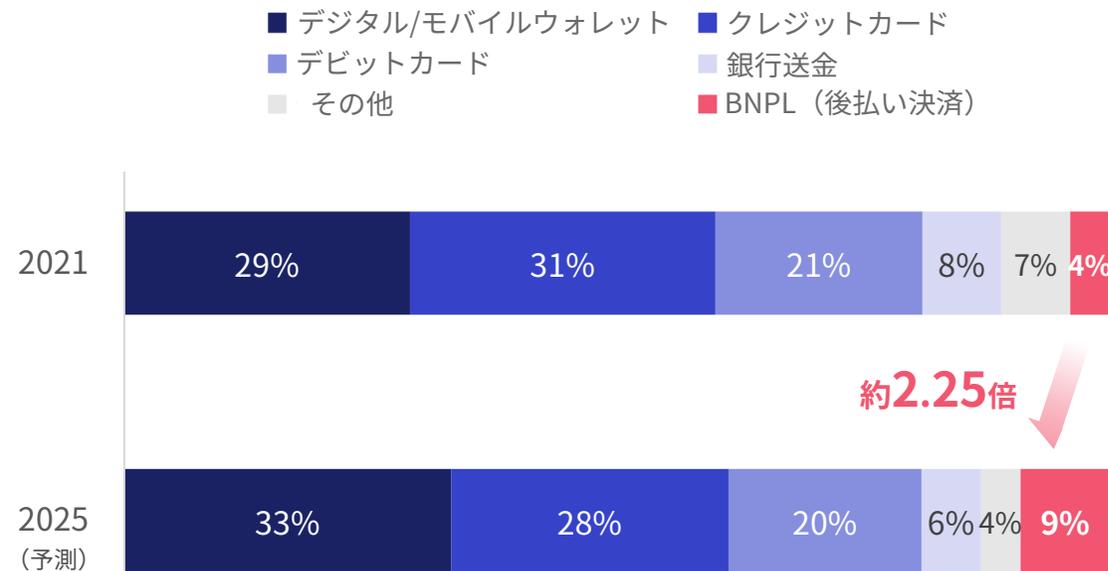
BNPL市場は、国内外で持続的に成長しており、今後も更なる利用拡大が見込まれる。

国内のBNPL市場推移



出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2023年版」

北米におけるBNPLの利用率予測



出典：Worldpay「Global Payments Report2022」

成長戦略・市場規模・日本の不正アクセス被害の増加

不正アクセス後に行われる不正行為の約7割が金融サービス・EC分野での不正。また、不正アクセスによる個人情報漏えい等の情報流出被害も後を絶たない状況であり、今後も不正アクセス被害の対策ニーズは増加していく。

不正アクセス後の不正行為ランキング

1位	インターネットバンキングでの不正送金等	49.8%
2位	インターネットショッピングでの不正購入	10.3%
3位	メールの盗み見等の情報の不正入手	9.8%
4位	オンラインゲーム・コミュニティサイトの不正操作	2.9%
5位	知人になりすましての情報発信	2.3%
6位	暗号資産交換業者等での不正操作	1.5%
7位	ウェブサイトの改ざん・消去	0.8%
8位	その他	8.6%

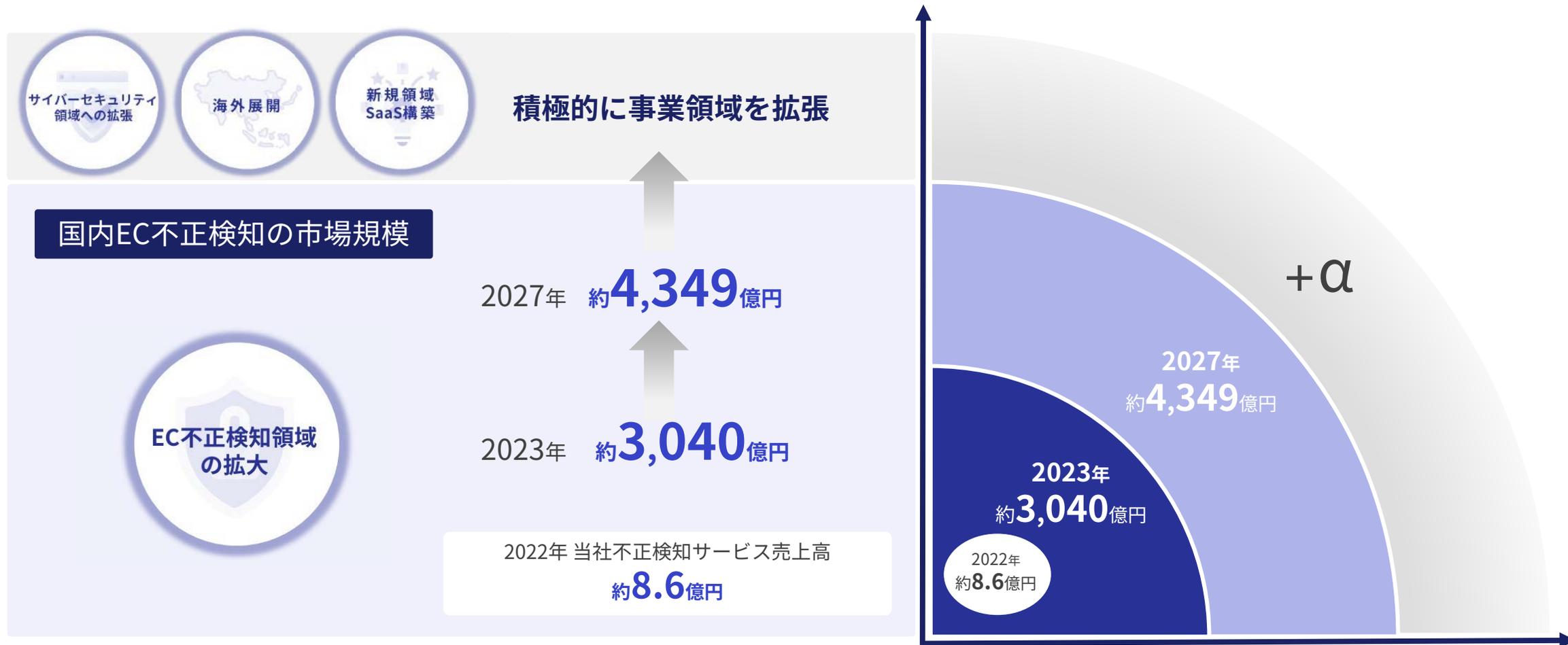
不正アクセスによる被害の事例（2023年3Q一部）

被害発生時期	被害先	被害内容
2023年9月	公共放送団体	放送センターの業務用サーバーが不正アクセスを受け、従業員等2万3,435名の個人情報漏えいした可能性。
2023年8月	IT企業	運営するSNSサイトのXアカウントにて、同社データベースに対する外部からの不正アクセスが発生し、ユーザーアカウント情報（パスワードなど）80万1,915件、メールアドレス60万8,967件、電話番号67万241件、金融機関情報883件、配達先住所22万1,007件、X ID情報24万686件などが第三者に流出した可能性。
2023年8月	飲食系企業	運用する顧客管理システムのサーバーが不正アクセスを受け、9万6,938人の個人情報が流出した可能性。
2023年8月	大手文房具メーカー	サーバーのランサムウェアに感染し、顧客情報含む個人データ約186万件の流出の可能性。
2023年7月	医療法人	病院のシステムに対する第三者からの不正アクセスが発生し、データベースに記録されていた患者、職員、学生や研修生等の個人情報最大約5万5,000件が外部閲覧可能な状態に。
2023年7月	産業機器メーカー	運営する産業機器通販サイトが不正アクセスを受け、過去カード決済したユーザー5,877名のカード情報および過去会員登録や購入をしたユーザー最大2万6,394名の個人情報が流出した可能性。
2023年7月	大手電機メーカー	管理しているサーバーがサイバー攻撃を受け、同社やグループ会社が保有する従業員情報約1万6,000人分の個人情報が流出した可能性。

出典：警察庁・総務省・経済産業省 令和4年
「不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況(令和4年度)」

成長戦略・市場規模・不正検知サービス市場の拡大

拡大が見込まれる国内EC不正検知領域を主軸としながら、積極的に事業領域を拡張していくことで、更に大きな市場で事業を展開していく。



出典：「FRAUD DETECTION AND PREVENTION Global Market Trajectory & Analytics GLOBAL INDUSTRY ANALYSTS.INC. 2021年5月」（1ドル＝110円で計算）

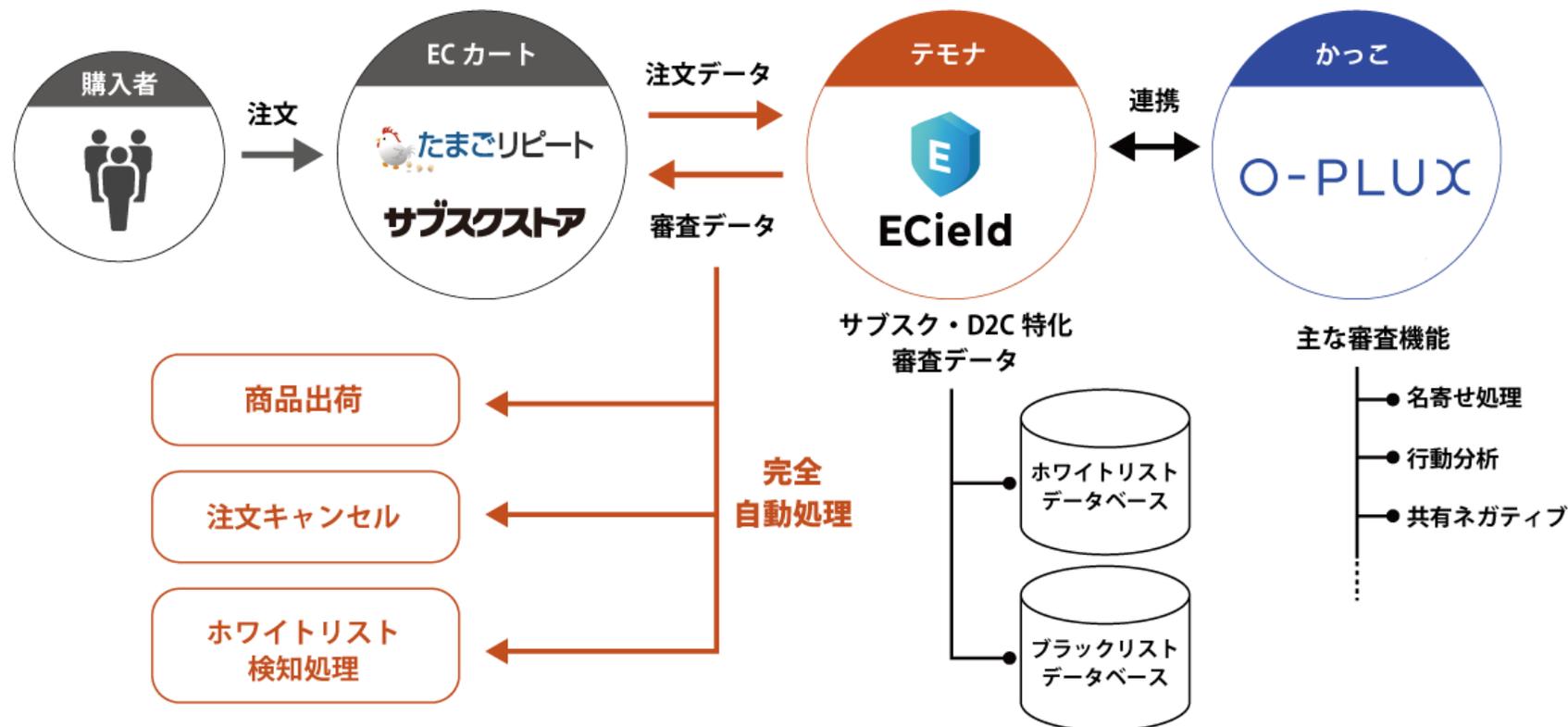
Appendix



Appendix ・ テモナ社の不正注文検知&自動処理サービス「ECield」の審査エンジンに「O-PLUX」が採用 (2023年10月5日付開示)

EC事業者1,000社超のカート導入実績No.1※のテモナ株式会社が提供する不正注文検知&自動処理サービス「ECield(イーシールド)」の審査エンジンに採用。

これにより、「ECield(イーシールド)」を利用の事業者はシステム開発不要で「O-PLUX」を利用でき、いたずら注文・悪質転売・アフィリエイト報酬目的等の不正対策強化が可能となる。



※：2019年6月 株式会社日本流通産業新聞社調べ

Appendix ・ 会社概要

社名	かっこ株式会社 (Cacco Inc.)
代表者	代表取締役社長CEO 岩井 裕之
事業内容	SaaS型アルゴリズム提供事業 (不正検知サービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス)
資本金	374,827,235円
上場市場	東京証券取引所グロース市場 (証券コード 4166)
設立	2011年1月28日
住所・TEL	東京都港区元赤坂一丁目 5 番31号 TEL : 03-6447-4534
特許	特許第6534255号・特許第6534256号・特許第6860156号
認証	ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 登録番号 : IA120255 プライバシーマーク® 第10824248 (05) 号

Appendix・会社沿革

沿革

- | | | |
|------|-----|--------------------------------------------------|
| 2011 | 1月 | 創業
(不正対策コンサルティング) |
| | 11月 | 決済コンサルティングサービス開始
(BNPL※事業者の決済システム開発・コンサルティング) |
| 2012 | 6月 | 不正注文検知サービス「O-PLUX」リリース |
| 2015 | 1月 | データサイエンスサービス開始
(小売・製造業等のデータ解析・アルゴリズム開発) |
| 2016 | 7月 | 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」リリース |
| 2020 | 12月 | 東証グロース上場 |
| 2021 | 10月 | 株式会社エルテスと資本業務提携 |
| 2022 | 12月 | 後払い決済導入パッケージ「SaaS型BNPLシステム」リリース |
| 2023 | 2月 | バリュークリエーション株式会社と資本業務提携 |
| | 6月 | フィッシング対策パッケージ「鉄壁PACK for フィッシング」リリース |



※BNPL：Buy Now Pay Laterの略。後払い決済のこと。

1

データサイエンスに関する知見とセキュリティ領域における高い技術

(取得特許3件：「特許第6534255号」「特許第6534256号」「特許第6860156号」)

2

EC領域とペイメント領域における当社サービス導入数国内No.1※の実績

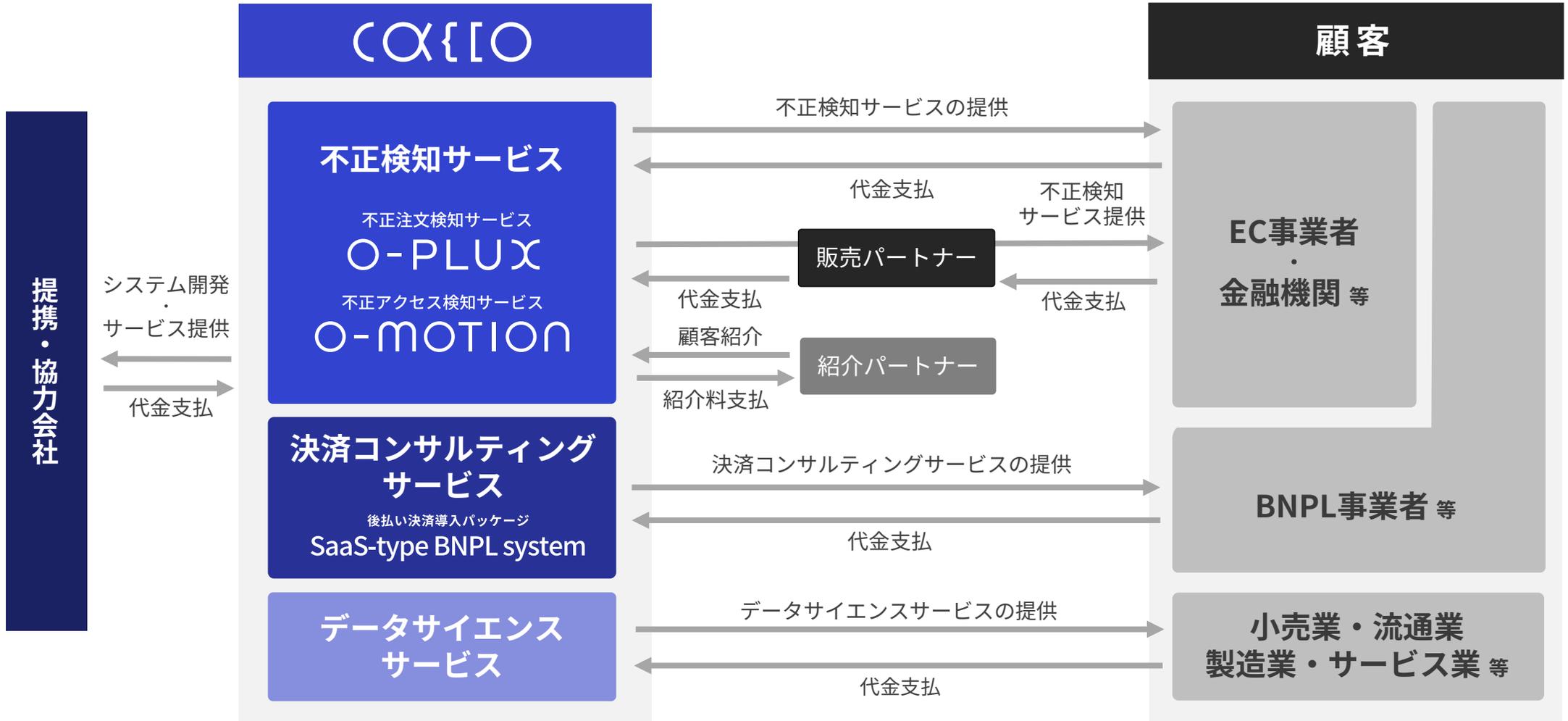
(※株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点)

3

中核サービスであるO-PLUXの利用拡大によるストック収益の堅調な成長

(FY2023 3Qの当社売上高全体に占めるストック収益の割合は72.0%)

Appendix • 当社のビジネスの商流

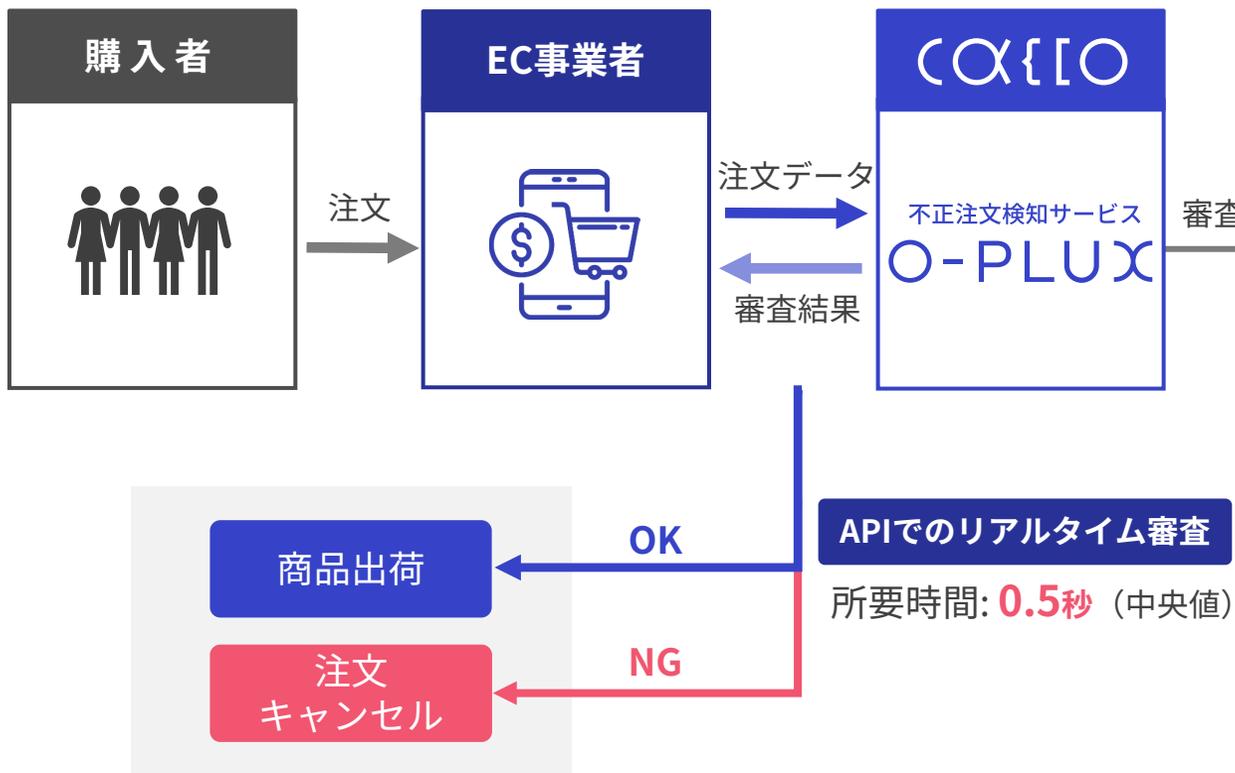


Appendix • 不正注文検知サービス「O-PLUX」の概要



ECにおける代金未払い等の不正注文を独自の審査モデルでリアルタイムに検知するSaaS型サービス

審査の流れ



主な審査機能

- 名寄せ処理**
 - 異なる表記の同一住所や姓名を正規化処理して活用
ex: 赤坂4丁目3番地2号 赤坂4-3-2
 - 氏名とフリガナの不一致判定
- デバイス情報**
 - 住所確認サービス(デタラメな住所の判定)
 - IP、cookieによる同一視判定
 - 海外からのアクセス判定
 - 言語設定、タイムゾーンによる外国人のなりすまし判定 etc...
- 外部DB連携**
 - 空室の判定 (ウィークリーマンション・ホテルの判定)
 - 海外転送サービスの判定
 - 電話番号疎通の判定 etc...
- 行動分析**
 - 短期間の大量購入やなりすましなど、不正者に顕著な情報や行動パターンを分析して検知
- 共有ネガティブ**
 - 利用企業で共有されているネガティブデータベースとの一致を判定 (累計11万サイト)
 - 初回限定品の買い回り検知サービス

Appendix・不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 差別化要因

製品における差別化要因

1

国内不正注文データの大量保有による
高い不正検知精度 ※導入数国内No.1の実績



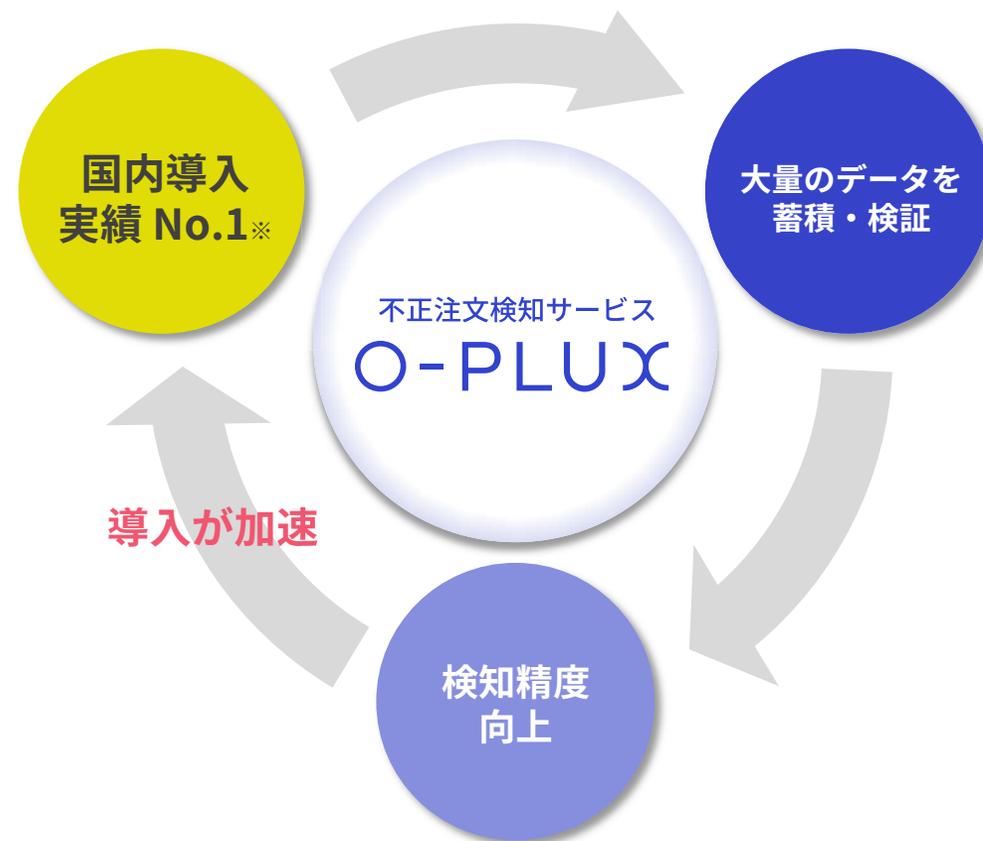
2

データサイエンス・セキュリティの技術
とノウハウで独自の検知モデルを構築

3

国内製品・自社製品ならではのスピーディ
かつ柔軟なモニタリング&サポート体制

競合優位性が維持される好循環サイクル



※ 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

Appendix・不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 収益構造



従量課金と定額課金を合算した**ストック収益**が、売上高全体の**約7割**を占める安定的な収益構造。
さらに、従量課金により、**EC市場・BNPL市場の拡大**に伴うアップサイドポテンシャルを享受可能。

「O-PLUX」のストック収益が伸びる3つの要素

顧客数

EC事業者
(直販クライアント)

- ① 導入障壁の解消
 - ② プロダクトの付加価値向上
 - ③ アライアンス拡大・市場開拓
- 上記3つで更なるシェア拡大を図る。

決済事業者

EC事業者

EC事業者

EC事業者

決済事業者を通じてEC事業者の利用が継続的に拡大。

顧客単価

審査料金
(従量課金)

月額料金
(定額)

EC市場・BNPL市場の成長に比例し、審査件数が拡大することにより、従量課金である審査料金の増加が見込める。

低解約率

Gross解約率^{※1}

0.14%

Net解約率^{※2}

▲0.85%

「O-PLUX」の月次解約率は引き続き低位で推移し、**ネガティブチャーン**を継続。

※1 Gross解約率=当月解約ストック収益の年間平均 ÷ 当月初時点のストック収益

※2 Net解約率= (当月解約ストック収益の年間平均 - 当月新規ストック収益) ÷ 当月初時点のストック収益

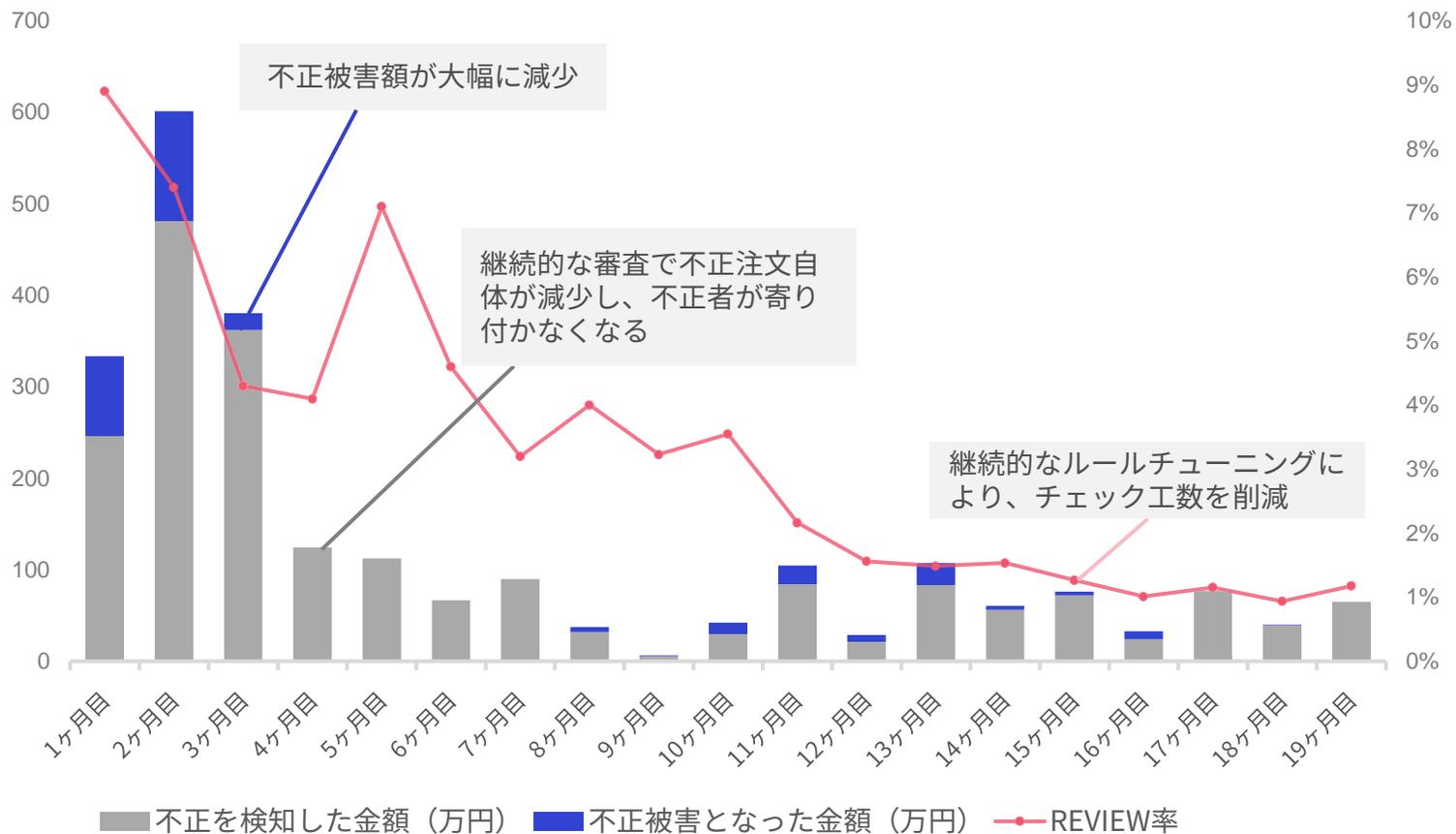
※3 ※1, ※2のいずれも2023年9月末日時点の解約率となります。

Appendix • 不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 導入事例



「O-PLUX」によってECにおけるクレジットカードの不正利用を5年間累計で約2.5億円検知

総合小売業	
年間流通額	年間70億円
顧客の課題	ECにおけるクレジットカードの不正利用 (最大1,000万円/月)
成果	導入初年度1億円の不正利用を検知 約5年間のご利用期間で 累計約 2.5億円 を検知



※不正を検知した金額とは、審査結果「NG」または審査結果「REVIEW」でカード属性の不一致、出荷前の本人確認等によりチャージバックとなる前に不正確定（ネガティブ登録）された取引の合計金額となります。
 ※REVIEW率とは、審査件数全体に対する審査結果「REVIEW」の件数の割合となります。

Appendix • 不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 導入企業



「O-PLUX」は、様々な業界に導入が進んでおり国内導入数No.1を獲得※1。
不正注文被害を未然に防ぐことで、電子商取引（eコマース）の安全なインフラ構築を推進。

ホビー



株式会社 AIJ



Oisix ra daichi



SUNSTAR

NEC Direct



NICORIO



Belle Neige Direct
ベルネージュダイレクト



コスメ・ヘアケア



ON&DO



KINS



L.L.Bean



graniph

J!NS

RAGTAG

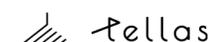


SISI

Sparty



PHOEBE BEAUTY UP



KARITAKE



KEYUCA



to esella



ホソカワミクロン化粧品株式会社

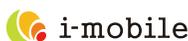
株式会社 コーピーエス



DIY FACTORY



ネットショッピングモール・MVNO・その他



GMO CREATORS NETWORK

DMM.com



映像・音響機器

ホスティング

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2023年5月末日時点

※2 掲載許諾を得た一部の企業のみ掲載 2023年10月末日時点

Appendix • 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」

不正アクセス検知サービス
O-MOTION

WEBサイトにアクセスしたユーザーの操作情報、デバイス情報等をリアルタイムに分析。
他人のなりすましを識別し、不正アクセスから生じる不正行為(個人情報漏洩・不正購入etc.)を防止。



Appendix • 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」 | 導入企業



「O-MOTION」は、金融機関やチケットサイト、各種ポイントサイトや会員サイトに導入。

金融



チケットサイト



NFTゲーム



ECサイト



ECカート/ECパッケージ



その他社名非公開導入企業

大手銀行
ネット証券会社
クレジットカード会社 等

Appendix • フィッシング対策パッケージ「鉄壁PACK for フィッシング」



不正アクセス検知サービス「O-MOTION」をコアにしたフィッシング対策をメインとしたパッケージサービス。



Appendix・不正検知サービスの価格柔軟性を持たせたラインアップ

アーキテクチャ刷新を活かした新規ラインアップを投入することで、潜在顧客のニーズに柔軟に対応し、新規顧客層の開拓・シェア拡大を図る。

 不正チェッカー

不正注文検知

「O-PLUX」の一部機能を **業界最安値** ※で提供。未だ小規模のネット通販事業者、現状大きな被害が発生しておらず、今後の被害拡大への備えを必要としている事業者向け。

月額基本料金

4,000円～

(1,000件分の審査費用を含む)

O-MOTION
Light

不正アクセス検知

自動プログラム（Bot）による総当たり攻撃や他人のID・パスワードを使った不正者のなりすましを検知。

月額基本料金

10万円～

(アクセス数の上限あり)

O-PLUX
Premium Plus不正注文検知
+
チャージバック
補償

クレジットカードの不正利用被害が発生した場合、**上限なしでその被害額を補償**。（出荷判断代行サービス）

月額基本料金

10万円～

Appendix ・ パートナー ・ アライアンス提携企業

今後もパートナー契約・アライアンス提携を進め、導入障壁の解消、販路拡大によりシェア拡大を図る。

ECパッケージ・ショッピングカート・チャットボット



カード会社



決済代行会社 (PSP)



セキュリティサービスベンダー



※1 EC-CUBEは株式会社イーシーキューブの商標です。
 ※2 2023年10月末日時点。

Appendix・決済コンサルティングサービス

BNPLの構築・立上げについて、サービス構築、決済システム開発、運用サポートまでワンストップで支援。
審査エンジンは不正注文検知サービス「O-PLUX」を提供。



Point 1

複数のBNPL事業の立ち上げ・システム開発の実績

- ・ 月間取引件数が数百万件規模の決済システムに関する構築実績
- ・ BNPL事業立ち上げのサポート実績（事業計画、各種要件定義作成など）
- ・ 事業開始後のサポート実績（与信、運用構築など）

Point 2

BNPLの運用経験があるコンサルタントによるサポート

BNPLの運用経験豊富なコンサルタントが、お客様の視点に立って最適な提案を実施。

Point 3

国内導入数No.1※の「O-PLUX」による不正注文検知

当社は、シビアな精度が求められる金融・決済分野で不正検知の実績をあげてきました。不正注文検知サービス「O-PLUX」は国内導入数No.1※を獲得しています。



※2023年5月末日時点（株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」）

Appendix • データサイエンスサービス

AI・統計学・数理最適化の技術をもとに、予測のモデル化や機械学習を適用した自動化など、企業活動の中核に貢献するアルゴリズムを開発・提供。

Our approach

SAKIGAKE KPI



データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告とその後のご提案まで実施。1億レコードまで、30営業日・200万円を提供するデータ分析サービス。

データサイエンス分室



あたかも自社の一部門の様に、データサイエンス資源を月額契約で活用可能。様々なステージの、あらゆる分析ニーズに応える「データサイエンス分室」構想を実現。

アルゴリズムの開発



人間の経験を超える最適化や、自動処理による生産性向上、需要やリスクの予測など、業務の処理において利益拡大を追求するアルゴリズムの開発。

Case studies

最適化

年商1,190億円の壁材メーカー

1700の製品・12の生産ラインにおける生産計画作成。複雑な条件を守りながら、生産量の最大化や、ロスを最小化する生産順を計画。



年間最大1.3億円コスト削減

統計・AI

年商55億円の文具メーカー

カレンダー、手帳、文具類で利益を最大化できる需要予測と、生産指示のためのアルゴリズム開発。欠品による機会損失を最小化。



販売機会損失70%削減

最適化

コールセンター

翌月の日・時間帯単位での需要を予測し、経営指標、従業員の勤務希望、労働条件といった複数の制約を満たす人員配置計画を自動生成。



年間0.6億円コスト削減

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料の作成について、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズの変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

お問合せ・個別取材のお申込みは、下記よりIR担当までご連絡ください。

E-mail：ir@cacco.co.jp

IRサイト：<https://cacco.co.jp/ir/>

C O X { [O

未来のゲームチェンジャーの
「まずやってみよう」をカタチに